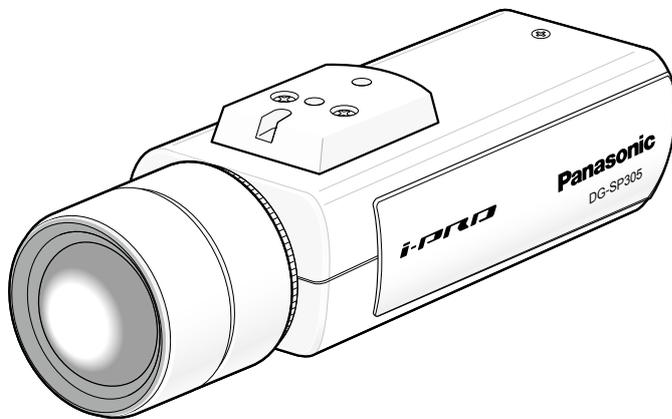


取扱説明書 操作・設定編

ネットワークカメラ

品番 DG-SP305, DG-SF335
DG-SP304V, DG-SF334



〈DG-SP305〉



〈DG-SF335〉

(DG-SP305のレンズは別売りです)

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は本書（PDFファイル）と基本編の2部構成になっています。

本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピュータ（以下、PC）から本機*を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。

※本書中の画面は、DG-SP305を使用しています。また、本書では、上記の機種を表記を「DG-」を省いた品番で記載しています。

本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。

PDFファイルをお読みにするためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。

PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。

本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

SP305 : DG-SP305で使用できる機能です。

SP304V : DG-SP304Vで使用できる機能です。

SF335 : DG-SF335で使用できる機能です。

SF334 : DG-SF334で使用できる機能です。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版をWindows7と表記しています。

Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版をWindows Vista と表記しています。

Microsoft® Windows® XP Professional SP3日本語版をWindows XPと表記しています。

Windows® Internet Explorer® 8.0日本語版、Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版、Microsoft® Internet Explorer® 6.0日本語版をInternet Explorerと表記しています。

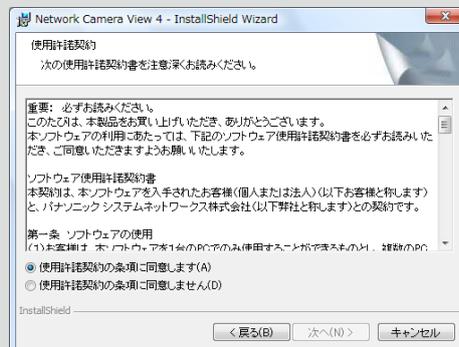
SDHC / SDメモリーカードをSDカードまたはSDメモリーカードと表記しています。

表示用プラグインソフトウェアについて

- 本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv4setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、93ページをお読みください。
- 最初にPCからライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの「バージョンアップ」タブで確認できます(※82ページ)。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



もくじ

はじめに

取扱説明書について	2
記号について	2
商標および登録商標について	2
略称について	3
表示用プラグインソフトウェアについて	3

操作

PCから画像を見る	7
1台のカメラの画像を見る	7
ライブ画ページについて	9
複数台のカメラの画像を見る	12
iモード端末から画像を見る	13
手動でSDメモリーカードに画像を保存する ...	15
アラーム発生時の動作について	16
アラームの種類について	16
アラーム発生時の動作について	16
FTPサーバーに画像を送信する	17
アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）	17
指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）	17
定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する	17
ログリストを表示する	18
ログリスト表示画面について	19
SDメモリーカードの画像を再生する	20
再生ページについて	20
画像をダウンロードする （SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合）	22

設定

ネットワークセキュリティについて	23
本機に装備されているセキュリティ機能	23
PCから設定メニューを表示する	24
表示のしかた	24
操作のしかた	25
設定メニューの画面について	26
本機の基本設定を行う [基本]	27

設定

基本設定を行う [基本]	27
SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]	29
SDメモリーカード内の画像をPCに保存する [SDメモリーカード画像取得]	33
ログリストを設定する [ログ]	36
アラームのログと画像の保存関係について	37
手動保存のログと画像の保存関係について	38
FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について	39
画像・音声に関する設定を行う [カメラ]	40
アスペクト比を設定する [JPEG/H.264] (または [JPEG/MPEG-4])	40
JPEG画像を設定する [JPEG/H.264] (または [JPEG/MPEG-4])	40
H.264画像に関する設定を行う [JPEG/H.264]	41
MPEG-4画像に関する設定を行う [JPEG/MPEG-4]	45
画像とプライバシーゾーンを設定する [画質]	48
画質の調整を行う (画質調整画面)	49
マスクエリアを設定する	52
プライバシーゾーンを設定する (プライバシーゾーン設定画面)	53
音声を設定する [音声]	54
マルチスクリーンを設定する [マルチスクリーン]	56
アラーム設定を行う [アラーム]	57
アラーム動作に関する設定を行う [アラーム]	57
アラーム画像に関する設定を行う [アラーム]	57
動画録画に関する設定を行う [アラーム]	59
アラーム出力端子に関する設定を行う [アラーム]	59
AUX名称を変更する [アラーム]	60
VMDの設定を行う [VMDエリア]	61
VMD検出エリアを設定する [VMDエリア]	62
メール通知に関する設定を行う [通知]	63
独自アラーム通知に関する設定を行う [通知]	64
画像認識の設定 [画像認識]	65
XML通知を設定する [XML通知]	65
顔検出情報の通知先を設定する [XML通知]	65
顔検出の設定をする [顔検出]	66
認証を設定する [ユーザー管理]	67
ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]	67
ホスト認証を設定する [ホスト認証]	68
優先ストリームを設定する [システム]	69
サーバーの設定をする [サーバー]	70

設定

メールサーバーを設定する [メール]	70
FTPサーバーを設定する [FTP]	71
NTPサーバーを設定する [NTP]	72
ネットワークの設定 [ネットワーク]	73
ネットワークを設定する [ネットワーク]	73
DDNSを設定する [DDNS]	76
SNMPを設定する [SNMP]	77
FTP定期送信を設定する [FTP定期]	78
FTP定期送信スケジュールの設定を行う [FTP定期]	79
スケジュールの設定を行う [スケジュール] ...	80
本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] ...	81
システムログを確認する [システムログ]	81
ソフトウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ] ...	82
本機を初期化・再起動する [初期化]	83
ヘルプを見る	84
ヘルプ画面を表示する	84

その他

システムログ表示について	85
故障かな!?	87
Bドライブのディレクトリー構造について ...	95

PCから画像を見る

ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1台のカメラの画像を見る

STEP1

PCのウェブブラウザを起動します。

STEP2

IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザの [アドレス] ボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：

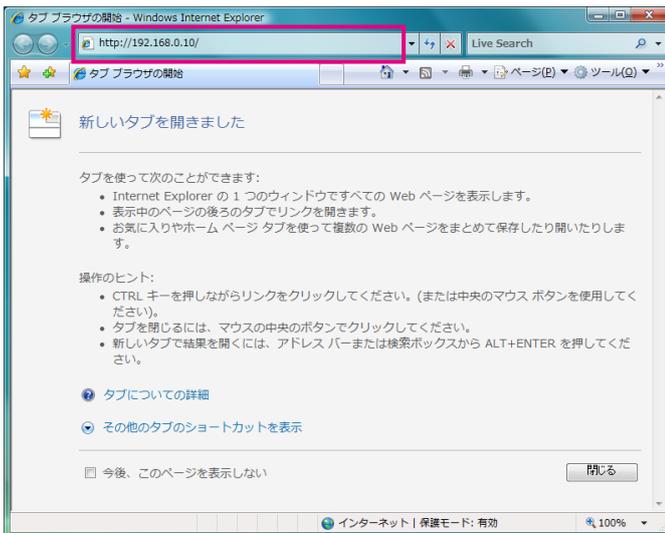
http://IPv4アドレスで登録したURL

http://192.168.0.10/

IPv6アドレスの入力例：

http://IPv6アドレスで登録したURL

http:// [2001:db8::10] /



〈IPv4アクセス例〉



〈IPv6アクセス例〉

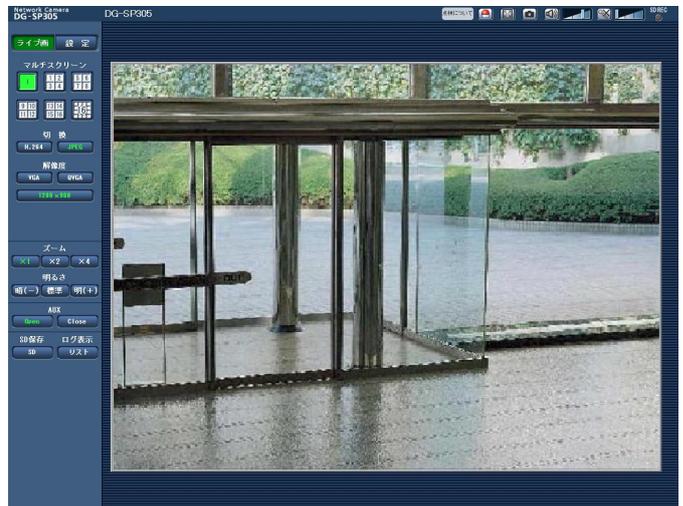
重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザ（メニューバーの「ツール」 - 「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

STEP3

[Enter] キーを押します。

→ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、9ページをお読みください。



「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名 : admin

パスワード : 12345

PCから画像を見る（つづき）

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお奨めします。
- 1台のPCで複数のH.264（またはMPEG-4）画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

メモ

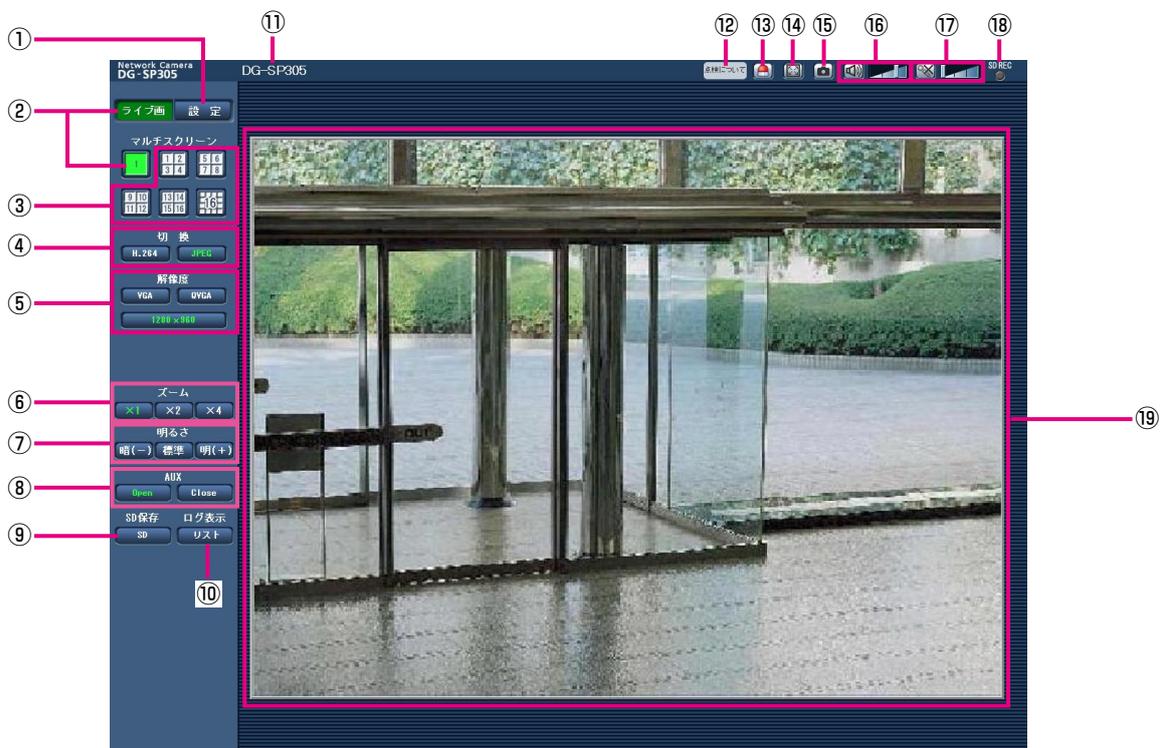
- 「動画配信形式」を「H.264」に設定していると、H.264画像が表示され、「MPEG-4」に設定しているとMPEG-4画像が表示されます。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264（またはMPEG-4）画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御(ビットレート)」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」（または「MPEG-4」）の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264（またはMPEG-4）画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）（[41](#)、[45](#)ページ）を「On」に設定すると、H.264（またはMPEG-4）画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

〈JPEG画像更新速度〉

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合 : 5 fps

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合 : 30 fps

ライブ画ページについて



① 【設定】 ボタン※1

設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

② 【ライブ画】 ボタン

ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

③ 【マルチスクリーン】 ボタン

設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。
(※12ページ)

④ 【切換】 ボタン

[H.264] ボタン / [MPEG-4] ボタン

：ボタン上の「H.264」(または「MPEG-4」)の文字が緑色に変わり、H.264画像(またはMPEG-4画像)が表示されます。設定メニューで「H.264(1)」(または「MPEG-4(1)」)の「H.264配信」(または「MPEG-4配信」)を「On」に設定すると、[H.264] ボタン(または[MPEG-4] ボタン)が表示されます。
(※41、45ページ)

[JPEG] ボタン

：ボタン上の「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑤ 【解像度】 ボタン

このボタンは、JPEG画像が表示されるときのみ表示されます。

[VGA] ボタン

：「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。

[QVGA] ボタン

：「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。

[1 280×960] ボタン

：「1 280×960」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1 280×960サイズで表示されます。

[640×360] ボタン

：[640×360]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640×360サイズで表示されます。

[320×180] ボタン

：[320×180]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320×180サイズで表示されます。

PCから画像を見る（つづき）

[1 280×720] ボタン

： [1 280×720] の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1 280×720サイズで表示されます。

メモ

- [VGA] [QVGA] [1 280×960] ボタンは、「アスペクト比」の設定が「4:3」に設定されているときのみ表示されます。
- [640×360] [320×180] [1 280×720] ボタンは、「アスペクト比」の設定が「16:9」に設定されているときのみ表示されます。
- 解像度が「1 280×960」または「1 280×720」の場合、ウェブブラウザ画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

⑥ [ズーム] ボタン

[x1] ボタン：「x1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）1倍で表示されます。

[x2] ボタン：「x2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）2倍で表示されます。

[x4] ボタン：「x4」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）4倍で表示されます。

⑦ [明るさ] ボタン※2

[暗（-）] ボタン：画像が暗くなります。

[標準] ボタン：初期設定の明るさに戻ります。

[明（+）] ボタン：画像が明るくなります。

⑧ [AUX] ボタン※2

SP305 **SF335**

[Open] ボタン：「Open」の文字が緑色に変わり、AUX端子がOpen状態になります。

[Close] ボタン：「Close」の文字が緑色に変わり、AUX端子がClose状態になります。

⑨ [SD保存] ボタン※2

SP305 **SF335**

[SD] ボタンは、設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。

（※30ページ）

ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は15ページをお読みください。

⑩ [ログ表示] ボタン※1

SP305 **SF335**

[リスト] ボタンは、設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみ表示されます。（※36ページ）ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては18ページをお読みください。

⑪ カメラタイトル

[基本] タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。（※27ページ）

⑫ 経過年数警告表示ボタン

製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示でお知らせします。

6年目：ボタンをクリックすると、消灯します。

11年目以降：ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。

⑬ アラーム発生通知ボタン※2

アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、アラーム出力端子がリセットされ、表示が消えます。（※16ページ）

⑭ 全画面表示ボタン

画像が全画面で表示されます（表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます）。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの [Esc] キーを押します。

⑮ ワンショットボタン

ワンショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。

また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

PCから画像を見る（つづき）

⑯受話ボタン※3

受話音声（PCで聞く）のOn / Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（※54ページ）
このボタンをクリックすると、ボタン表示がに切り換わり、本機からの音声はPCで聞こえなくなります。音量カーソルを移動すると、受話音量を弱 / 中 / 強の3段階で調節できます。

⑰送話ボタン※3

SP305 **SF335**
送話音声（PCから話す）のOn / Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（※54ページ）
送話中はボタンが点滅表示します。
このボタンをクリックすると、ボタン表示がに切り換わり、PCからの音声は本機で聞こえなくなります。音量カーソルを移動すると、送話音量を弱 / 中 / 強の3段階で調節できます。

メモ

- 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は最大で5分です。5分を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、[送話] ボタンをクリックしてください。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量 / 送話音量は、設定メニューの [音声] タブで設定されている受話音量 / 送話音量に戻ります。（※55ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。

⑱SD保存状態表示

SP305 **SF335**
SDメモリーカードへの保存状態を表示します。
保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。
保存が停止すると、消灯します。
この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ表示されます。（※30ページ）

⑲メインエリア

カメラの画像が表示されます。
設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って、現在の日時が表示されます。（※27ページ）
ズーム（倍率）が2倍、4倍のとき、ライブ画ページのメインエリア内で、画角の中心としたい位置でクリックすると、クリックした位置を中心とするカメラ画像が表示されます。

- ※1 アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
- ※2 「ユーザー認証」が「On」に設定（※67ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
- ※3 「音声許可レベル」で設定したアクセスレベルのユーザーのみ操作できます。アクセスレベルについて詳しくは、67ページをお読みください。

メモ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合がありますが、カメラの動作には影響ありません。
- 画面上ではホイール操作でズーム動作が可能です。
- PCによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、画像の上下がずれて表示されることがあります。

複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。（[P.56ページ](#)）

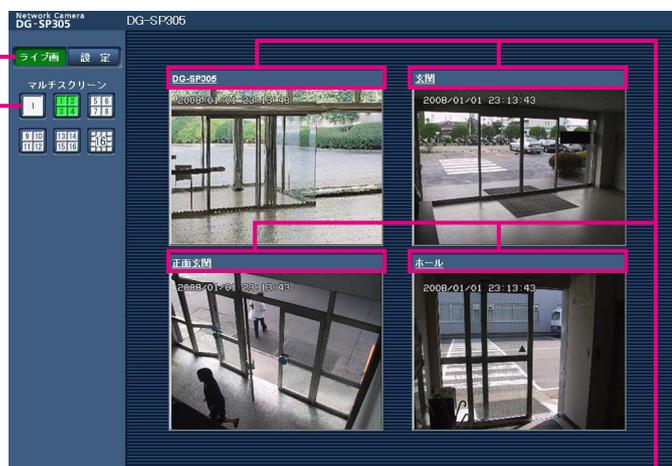
重要

- 16画面表示の場合、PTZカメラからの画像をパン・チルト・ズーム操作できなくなります。
- 4画面表示の場合、PTZカメラからの画像のみパン・チルト・ズーム操作が可能です。PTZカメラの対応機種、バージョンについては、付属CD-ROM内の「はじめにお読みください（Readmeファイル）」をお読みください。
- マルチスクリーンで表示される画像はJPEGのみです。音声は出力されません。
- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されているカメラをマルチスクリーンで表示すると、「アスペクト比」が「4:3」の表示枠に合わせて、縦に引き延ばした映像になります。

STEP 1

[マルチスクリーン] ボタンをクリックします。

→カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。



① 1画面表示にするには、[ライブ画] ボタンをクリックします。

② カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画像が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

iモード端末から画像を見る

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新したり、AUX制御を行うことができます。

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
ユーザー名：admin
パスワード：12345
セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

メモ

- iモード端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（[73ページ](#)）

STEP 1

iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i/」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力し、決定ボタンを押します。
→本機の画像が表示されます。



メモ

- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i/」を入力して、本機のポート番号を指定してください。
- DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力してください。
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。iモード端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- ユーザー認証が「Off」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは設定したパスワードを入力してください。
- iモード端末からは、音声の受信／送信はできません。
- iモード端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG設定」の「画質」（[40ページ](#)）を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いのiモード端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

iモード端末から画像を見る（つづき）

更新

[0] ボタンを押すか [[0]更新] にカーソルを移動して決定ボタンを押します。

→最新の画像が表示されます。

AUX制御

SP305 **SF335**

AUX端子の状態を切り換えます。

Open / Closeにカーソルを移動して決定ボタンを押します。

Open : 「Open」の文字が赤色に変わり、AUX端子をOpen状態にします。

Close : 「Close」の文字が赤色に変わり、AUX端子をClose状態にします。

メモ

- iモード端末では、設定メニューの [アラーム] タブで変更したAUX名称は反映されません。
 - 「ユーザー認証」が「On」に設定（[67ページ](#)）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
アクセスレベルについて詳しくは、[67ページ](#)をお読みください。
-

手動でSDメモリーカードに画像を保存する

SP305 SF335

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。

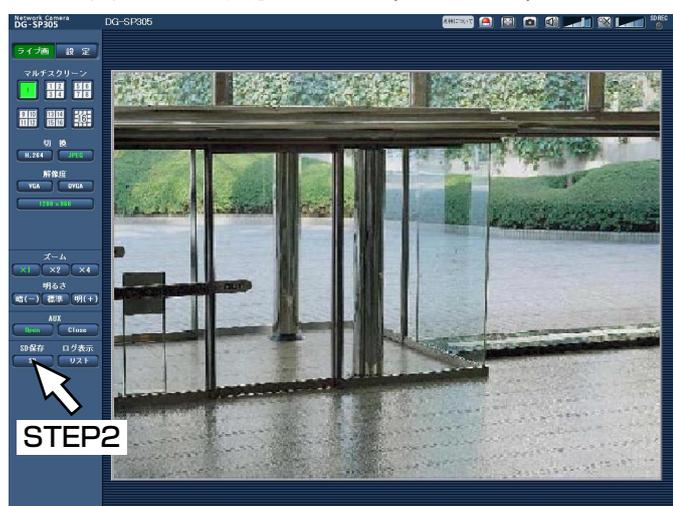
設定メニューで、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。(P.30ページ)

設定メニューの「録画圧縮方式」で、保存する対象を「JPEG」または「H.264」のどちらかに設定できます (P.30ページ)。「録画圧縮方式」で「JPEG」を選択している場合は静止画が保存され、「H.264」を選択している場合は動画が保存されます。

SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。(P.33ページ)

STEP1

ライブ画ページを表示します。(P.7ページ)



STEP2

[SD] ボタンをクリックします。

→SDメモリーカード保存画面が別ウィンドウで表示されます。



STEP3

[開始] ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。

保存間隔の設定は、基本ページの [SDメモリーカード] タブで行います。(P.29ページ)

STEP4

SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには [停止] ボタンをクリックします。

STEP5

[閉じる] ボタンをクリックし、画面を閉じます。

メモ

- 動画データの保存先は、Bドライブの固定のディレクトリになります。「Bドライブのディレクトリ構造について」(P.95ページ)をお読みください。

Bドライブに保存されたデータは、基本ページの [SDメモリーカード] タブで、「画像取得」を実行し、ユーザー認証画面からログインすることで取得できます。

- [停止] ボタンをクリックした後、すぐに [開始] ボタンをクリックすると、画像の保存が開始されないことがあります。そのときは、再度、[開始] ボタンをクリックしてください。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

アラームの種類について

- 端子アラーム : **SP305** **SF335**
外部I/O端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- VMDアラーム : 設定したVMDエリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
※VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
- コマンドアラーム : ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

アラーム発生時の動作について

●ライブ画ページにアラーム発生通知ボタンを表示する（[P.10](#)ページ）

アラームが発生すると、「ライブ画」ページにアラーム発生通知ボタンが表示されます。

重要

- 「状態通知間隔」（[P.28](#)ページ）を「定期（30 s）」に設定した場合、アラーム発生通知ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する **SP305** **SF335**

アラームが発生すると、アラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの「アラーム」タブで行います。（[P.57](#)ページ）

●SDメモリーカードに画像を保存する **SP305** **SF335**

アラームが発生すると、SDメモリーカードに画像（JPEG / H.264）が保存されます。SDメモリーカードに画像を保存する設定は、基本ページの「SDメモリーカード」タブ（[P.29](#)ページ）、アラームページの「アラーム」タブで行います。（[P.57](#)ページ）

●画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの「アラーム」タブ（[P.58](#)ページ）、サーバーページの「FTP」タブで行います（[P.71](#)ページ）。

重要

- SDメモリーカードを使用する場合、「SDメモリーカード」タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。

●Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの「通知」タブ（[P.63](#)ページ）、サーバーページの「メール」タブで行います（[P.70](#)ページ）。

●指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの「通知」タブで行います。（[P.64](#)ページ）

FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。
- FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの [SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」、または、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。

FTPサーバーの設定は、サーバーページの [FTP] タブで行います。(P.71ページ)

アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの [アラーム] タブで行います。(P.57ページ)

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。
- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。

送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの [FTP] タブで行います。(P.71ページ)

FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの [FTP定期] タブで行います。(P.78ページ)

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

SP305 SF335

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの [SDメモリーカード] タブで設定します。(P.29ページ)

弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」(P.78ページ)、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」(P.30ページ)に設定してください。

重要

- SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因に関わらず保証いたしかねます。

ログリストを表示する

SP305 SF335

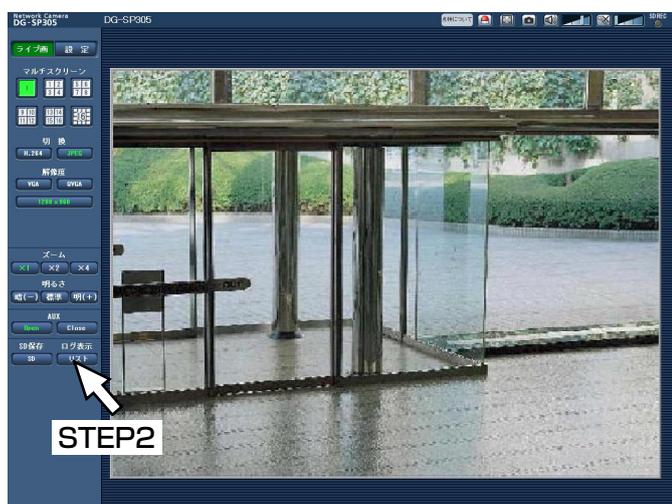
以下の履歴を一覧で表示します。

- アラームログ : アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
- 手動保存ログ : 手動でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
- FTP定期送信エラーログ : FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

基本ページの [ログ] タブ (P.36ページ) で「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

STEP1

ライブ画ページを表示します。(P.7ページ)



STEP2

[リスト] ボタンをクリックします。

→ログリスト表示画面が別ウィンドウで表示されます。



重要

- ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

メモ

- 「SDメモリーカードの使用」が「使用しない」に設定されている場合、「手動保存ログ」と「FTP定期送信エラーログ」は表示されません。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合、「FTP定期送信エラーログ」は表示されません。

STEP3

「ログ表示」から表示したいログリストをクリックします。

→選択したログリストが表示されます。

メモ

- 設定メニューの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定され、SDメモリーカードに画像が保存されている場合、時間をクリックすると画像を表示できます。(P.20ページ)

ログリストを表示する（つづき）

ログリスト表示画面について

【リスト件数】

リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号を表示します。

メモ

- 表示したいログの番号を入力してキーボードの [Enter] キーを押します。指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。

【先頭】 ボタン

先頭のログを表示します。

【前ページ】 ボタン

前のページのログリストを表示します。

メモ

- 【前ページ】 ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

【次ページ】 ボタン

次のページのログリストを表示します。

メモ

- 【次ページ】 ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

【最後】 ボタン

最後のログを表示します。

【時間】

ログが記録された日時を表示します。

メモ

- 「時刻表示形式」(☞27ページ) を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
 - ・アラームログ：アラーム発生の日時がログとして記録されます。
 - ・手動保存ログ：手動でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続してJPEG保存する場合は、1時間ごとにログが記録されます。
 - ・FTP定期送信エラーログ
：1時間ごとにログが記録されます。

【要因】

アラームが発生した要因を表示します。アラームログリストの場合のみ表示されます。

- TRM : 端子へのアラーム入力によるアラーム
- VMD : VMDアラームによるアラーム
- COM : コマンドアラームによるアラーム

【SDメモリーカード】

SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。表示内容は、【SDメモリーカード】 タブの「容量表示」と同じです。(☞32ページ)

【削除】 ボタン

表示中のログリストを削除します。

SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

重要

- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに時間がかかります。
- 削除中はログのみが保存され、画像を新しく保存することはできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度【削除】 ボタンをクリックしてください。

【ダウンロード】 ボタン

表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。

【閉じる】 ボタン

ログリスト表示画面を閉じます。

SDメモリーカードの画像を再生する

SP305 SF335

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。

重要

- 本機能はSDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合のみ使用できます。「H.264」に設定されている場合は、再生ページは表示されません。ただし、画像のダウンロードは行えます。操作方法については、22ページをお読みください。
- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「QVGA」および「1 280×960」の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。また、「アスペクト比」が「16:9」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×180」および「1 280×720」の場合でも再生ページは「640×360」で表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- [FTP定期] タブの「送信間隔」が1分よりも短く設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。



再生ページについて

画像枚数

クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

メモ

- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの[Enter]キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

【高速逆再生】ボタン

ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。

高速再生中に[再生]ボタン、[逆再生]ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

【逆再生】ボタン

前の画像へ順番に再生します。

【再生】ボタン

画像を順番に再生します。

SDメモリーカードの画像を再生する（つづき）

【高速再生】 ボタン

ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。

高速再生中に「再生」ボタン、「逆再生」ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

【先頭】 ボタン

先頭の画像を表示します。

【逆コマ送り】 ボタン

再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。

一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

メモ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
ボタンを離すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

【一時停止】 ボタン

再生中にクリックすると、再生が一時停止します。

一時停止中にクリックすると再生が再開します。

【終了】 ボタン

再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。

【コマ送り】 ボタン

再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。

一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

メモ

- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
ボタンを離すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

【最後】 ボタン

最後の画像を表示します。

■SDカード

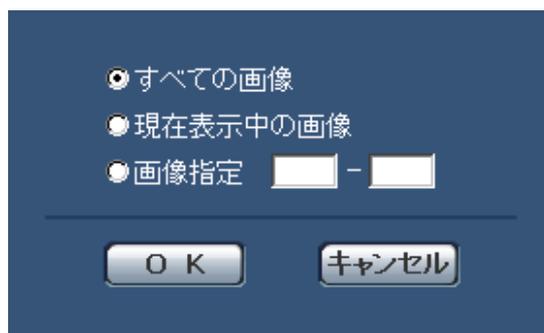
【開始】 ボタン

選択した画像がPCにダウンロードされます。

PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（[P.36](#)ページ）

【開始】 ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

ダウンロードする画像の対象を選択して、【OK】 ボタンをクリックします。



すべての画像 : 選択した時間の画像をすべてダウンロードします。

現在表示中の画像 : 表示中の画像のみをダウンロードします。

画像指定 : 画像の範囲を指定してダウンロードします。

メモ

- ダウンロード中に【キャンセル】 ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
【キャンセル】 ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

【表示】 ボタン

ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。（[P.33](#)ページ）

SDメモリーカードの画像を再生する（つづき）

画像をダウンロードする

（SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合）

重要

- ご使用のネットワーク環境によっては、動画のダウンロードに失敗する場合があります。

SDメモリーカードに保存した動画を再生するには、再生したいデータをダウンロードし、PCに保存します。動画は再生ページでは再生できませんので、下記の手順に従って操作してください。

STEP1

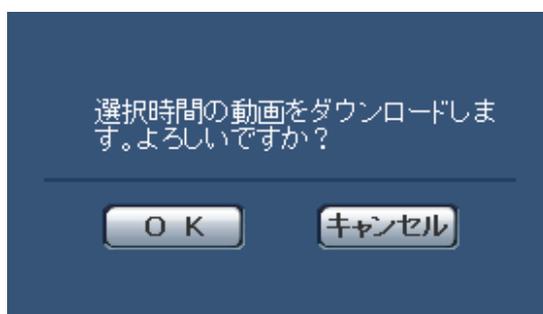
ログリスト表示画面（ 18ページ）で時間をクリックします。



→ダウンロード画面が表示されます。

STEP2

[OK] をクリックすると、選択した時間の動画のダウンロードを開始します。



メモ

- ダウンロード中に [キャンセル] ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。[キャンセル] ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。
- 選択した時間に関する動画データのダウンロードが開始されます。
 - ※ダウンロード開始後に [キャンセル] ボタンをクリックした場合、キャンセルに時間がかかることがあります。
 - ※動画データは、約2 MB単位のファイルに保存されるため、2 MB以上の容量のデータの場合は、複数のファイルがダウンロードされます。

PCに保存した動画は、QuickTime® PlayerやWindows Media® Player※1 などを使用して再生することができます。ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。

※1 対応OSは、Microsoft® Windows® 7のみです。

- SDメモリーカードの状態や、QuickTime Player、Windows Media Playerの状態によっては、動画を再生できない場合があります。

ネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

①ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限

ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。
([☞](#) 67、68ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止できます。
([☞](#) 74ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザを閉じてください。
- 管理者のパスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

重要

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、67ページをお読みください。

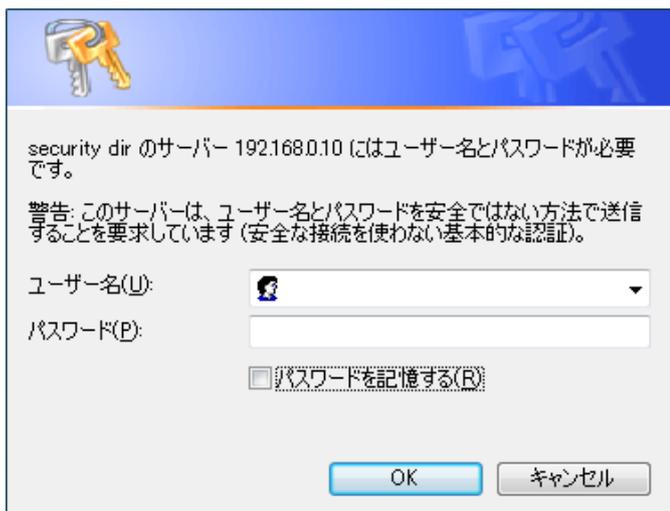
表示のしかた

STEP1

ライブ画ページを表示します。(67ページ)

STEP2

ライブ画ページの [設定] ボタンをクリックします。
→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。



security dir のサーバー 192.168.0.10 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名(U):

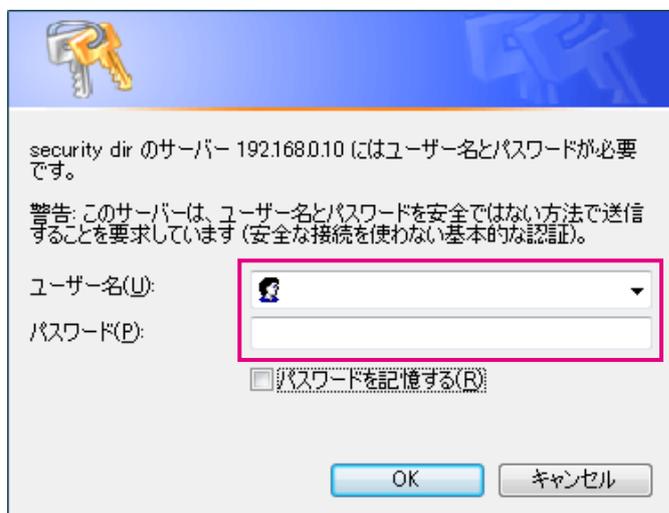
パスワード(P):

パスワードを記憶する(R)

OK キャンセル

STEP3

ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



security dir のサーバー 192.168.0.10 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワードを記憶する(R)

OK キャンセル

→設定メニューが表示されます。

本メニューについての詳細は、26ページをお読みください。



Network Camera DG-SP305 DG-SP306

ライブ画 設定

設定メニュー

基本 SDメモリーカード ログ

カメラタイトル DG-SP306

日時 2010 / 01 / 01 00 : 00 : 00

時刻表示形式 24h

日付時刻 日付表示形式 YYYY/MM/DD

サマータイム In Out

画面内文字表示 On Off

画面内文字(A~Z, 0~9, カナ)

表示位置 左上

明るさ調整表示 On Off

ランプ表示 点灯 消灯

状態通知音 定期(30s) リアルタイム

状態通知受信ボイス番号 0104 (11-65535)

プラグインソフトウェアの自動インストール 許可する 許可しない

設定

PCから設定メニューを表示する（つづき）

操作のしかた



STEP1

画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

STEP2

設定ページの各項目を入力します。

STEP3

入力終了したら、「設定」ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- [設定]、[登録] ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに [設定]、[登録] ボタンをクリックしてください。

<例>



A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の [設定] ボタン (A-1) をクリックします。
A欄の下の [設定] ボタン (A-1) をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の [設定] ボタン (B-1) をクリックします。

PCから設定メニューを表示する（つづき）

設定メニューの画面について



① [設定] ボタン

設定メニューを表示します。

② [ライブ画] ボタン

ライブ画ページを表示します。

③ [基本] ボタン

基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定やSDメモリーカードに関する情報を設定します。(P.27ページ)

④ [カメラ] ボタン

カメラページを表示します。カメラページでは、JPEG / H.264（またはMPEG-4）画像の画質・解像度などカメラに関する設定を行います。(P.40ページ)

⑤ [マルチスクリーン] ボタン

マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。(P.56ページ)

⑥ [アラーム] ボタン

アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作やVMDエリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。(P.57ページ)

⑦ [画像認識] ボタン

画像認識ページを表示します。画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先、顔検出に関する設定を行います。(P.65ページ)

⑧ [ユーザー管理] ボタン

ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。(P.67ページ)

⑨ [サーバー] ボタン

サーバーページを表示します。サーバーページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーに関する設定を行います。(P.70ページ)

⑩ [ネットワーク] ボタン

ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS (Dynamic DNS)、SNMP (Simple Network Management Protocol)、FTP (File Transfer Protocol) 定期送信に関する設定を行います。(P.73ページ)

⑪ [スケジュール] ボタン

スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、アラーム入力許可やVMD検出許可などを行うスケジュールを設定します。(P.80ページ)

⑫ [メンテナンス] ボタン

メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。(P.81ページ)

⑬ [ヘルプ] ボタン

ヘルプページを表示します。(P.84ページ)

⑭ カメラタイトル

現在設定しているカメラタイトルを表示します。

⑮ 設定ページ

各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。

本機の基本設定を行う [基本]

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定、SDメモリーカード、ログに関する設定を行います。

基本ページは、[基本] タブ、[SDメモリーカード] タブ (**SP305** **SF335**)、[ログ] タブ (**SP305** **SF335**) の3つのタブで構成されています。

基本設定を行う [基本]

基本ページの [基本] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた：24、25ページ)
ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。



【カメラタイトル】

本機の名称を入力します。入力後、[設定] ボタンをクリックすると、入力した名称がステータス表示部に表示されます。

入力可能文字数：0～20文字

初期設定：機種によって以下のようになります。

DG-SP305
DG-SP304
DG-SF335
DG-SF334

【日時】

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12 h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。

設定可能範囲：2010/01/01 00:00:00～
2035/12/31 23:59:59

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。(※72ページ)

【時刻表示形式】

時刻の表示方法を12 h / 24 h / Offから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。

初期設定：24h

【日付表示形式】

日付の表示形式を選択します。「日時」を「2010年4月1日 13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

DD/MM/YYYY : 01/04/2010 13:10:00
MM/DD/YYYY : 04/01/2010 13:10:00
DD/Mmm/YYYY : 01/Apr/2010 13:10:00
YYYY/MM/DD : 2010/04/01 13:10:00
Mmm/DD/YYYY : Apr/01/2010 13:10:00

初期設定：YYYY/MM/DD

【サマータイム】

サマータイムを使用するかどうかをIn / Outで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。

In : 時刻をサマータイムにします。時刻表示に「*」が表示されます。

Out : サマータイムを解除します。

初期設定：Out

【画面内文字表示】

画像上に文字列を表示するかどうかをOn / Offで設定します。

「On」に設定すると、「画面内文字 (A～Z、0～9、カナ)」で入力した文字列が、「表示位置」で選択した位置に表示されます。

初期設定：Off

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

【画面内文字 (A～Z、0～9、カナ)】

画像内で表示する文字列を入力します。

入力可能文字数：0～16文字

入力可能文字：0～9 (半角)、A～Z (半角、大文字)、
全角カナ、半角記号 (! " # \$ % & ' ()
* + , - . / : ; = ?)

初期設定：なし (空白)

【表示位置】

ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。

左上：画面内の左上に表示します。

左下：画面内の左下に表示します。

右上：画面内の右上に表示します。

右下：画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

【明るさ状態表示】

明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：On

【ランプ表示】

以下のランプの点灯 / 消灯を選択します。動作状態をランプで確認したいときは、「点灯」を選択します。

通常は「消灯」を選択し、ランプを消灯します。

- 電源ランプ
- リンクランプ
- アクセスランプ
- SDメモリーカードエラーランプ/フォーカスアシストランプ

初期設定：点灯

メモ

- 電源ランプ (緑色)
：本機の電源がOnになると点灯します。
- リンクランプ (橙色)
：接続機器と通信可能になると点灯します。
- アクセスランプ (緑色)
：ネットワークにアクセスしているときに点灯します。
- SDメモリーカードエラーランプ/フォーカスアシストランプ (赤色)
以下の場合に点灯します。
 - SDメモリーカードに保存できないとき
 - フォーカスアシストを起動したとき
 - BEST FOCUSを表示したとき

【状態通知間隔】

本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。

本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、アラーム発生通知ボタン、[AUX] ボタン、SD保存状態表示を表示して、知らせます。

定期 (30 s)：30秒ごとに状態を更新し、通知します。

リアルタイム：状態に変化があった場合に通知します。

初期設定：リアルタイム

メモ

- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

【状態通知受信ポート番号】

「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65 535

初期設定：31 004

【プラグインソフトウェアの自動インストール】

表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。

許可する：表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。

許可しない：表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

初期設定：許可する

重要

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされていないPCでは、画像の表示や音声の受話 / 送話を行えません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、本機ブラウザメニュー画面のメンテナンスページの「バージョンアップ」タブで確認できます。

SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]

SP305 SF335

基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)
ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。

[SDメモリーカード]

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。

初期設定：使用する

重要

- SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。
- 「使用する」／「使用しない」の設定を切り換えたときに、他のユーザが操作中の場合、その操作が中断されます。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取りはずしてください。
- SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。

- SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードする場合は、[ログ] タブ (※36ページ) で「ログ保存」を「On」に設定してください。
- 画像更新速度が速いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。また、複数のユーザが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われないことがあります。その場合は、画像更新速度を遅くしてください。
- SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなることがあります。
- SDメモリーカードの寿命は、SDメモリーカードに保存する画像ファイルの数とログ書き込みの数の影響を受けます。「録画圧縮方式」で「H.264」を選択することにより、SDメモリーカードに保存するファイル数を減らすことができます。
- SDメモリーカードの書き込み回数が増えると、書き込み速度が低下します。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

【録画圧縮方式】

SDメモリーカードに保存する映像データの種類をJPEG / H.264から選択します。

JPEG : 静止画を保存します。

H.264 : 動画をMP4フォーマットで保存します。
音声は保存されません。

初期設定 : JPEG

メモ

- 「H.264」選択時は、MPEG-4およびH.264(2)の配信ができません。
- 「H.264」を選択すると、カメラページの「[JPEG/H.264] タブの「H.264(2)」設定が、「H.264 動画録画」設定に切り換わります。
- カメラページの「[JPEG/H.264] タブの「動画配信形式」を「H.264」から「MPEG-4」に変更すると、録画圧縮方式の設定も連動して「JPEG」に切り換わります。
- ユーザー管理ページの「[システム] タブの「優先ストリーム ストリーム種別」で「H.264・MPEG-4(2)」を設定している場合、その優先帯域は確保されません。
- 弊社のネットワークディスクレコーダーのSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、「録画圧縮方式」を「JPEG」に設定してください。
- 設定を「JPEG」と「H.264」で切り換えた場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください (P.32ページ)。
- 「JPEG」の場合と「H.264」の場合では、ファイルの保存形式が異なるため、SDメモリーカードの残容量表示が異なります。
- 「録画圧縮方式」を「H.264」に設定変更した場合、「H.264動画録画」の「解像度」、「モード」、「フレームレート」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」の設定は、H.264(2)で設定されていた値が最初に設定されます。H.264(2)で「リフレッシュ間隔」が「2 s」、「3 s」、「4 s」、「5 s」に設定されていた場合、「録画圧縮方式」を「H.264」に設定変更すると、「H.264動画録画」の「リフレッシュ間隔」は、「1 s」が最初に設定されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、アラーム画像の保存は、「[アラーム] - [アラーム]」タブの「プレアラーム」「ポストアラーム時間」の設定に従って動作します。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、保存するファイルのファイルの名称は自動で付与されます。

■JPEG/H.264共通

【SDメモリーカード残容量通知】

メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。

50 % / 20 % / 10 % / 5 % / 2 %

初期設定 : 50 %

メモ

- SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知されます。
例えば、「50 %」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

【保存モード】

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

FTP定期送信エラー時 : FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。

アラーム発生時 : アラームが発生したときに画像を保存します。

手動保存 : 画像を手動で保存します。

初期設定 : FTP定期送信エラー時

メモ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー時」は設定できません。
- FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。
- 手動保存に設定した場合は、アラームのログ保存 (基本ページの「[ログ]」タブ P.36ページ) が「On」に設定されていても、アラーム検出したログはログリストに記録されません。

【上書き】

SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。「保存モード」で「手動保存」が選択されている場合のみ設定できます。

上書きあり : SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。

上書きなし : SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定 : 上書きなし

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

メモ

- 「保存モード」設定によって、上書きの設定が以下ようになります。
 - FTP定期送信エラー時：上書きされません。
 - アラーム発生時：上書きして保存されます。
 - 手動保存：「上書き」で上書きあり／上書きなしを設定できます。

■JPEG録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合のみ設定できます。

【ファイル名】

SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときにファイル名は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号

入力可能文字数：1～8文字

メモ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、保存するファイルのファイルの名称は自動で付与されます。
- 「保存モード」が「FTP定期送信エラー時」に設定されている場合は、ネットワークページの「FTP定期」タブで設定されているファイル名で保存されます。

【保存間隔・枚数 保存間隔】

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。

0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps / 1 fps
初期設定：1 fps

【保存間隔・枚数 保存枚数】

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。

10 枚 / 20 枚 / 30 枚 / 50 枚 / 100 枚 /
200 枚 / 300 枚 / 500 枚 / 1 000 枚 /
2 000 枚 / 3 000 枚

初期設定：100 枚

メモ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「プレアラーム」、「ポストアラーム時間」は、「アラーム」タブの「H.264動画録画」で設定されます。
- 「保存枚数」は「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

【解像度】

「保存モード」を「手動保存」に設定し、かつ、「録画圧縮方式」が「JPEG」の場合に、SDメモリーカードへ保存する画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
QVGA / VGA / 1 280×960
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
320×180 / 640×360 / 1 280×720

初期設定：VGA

メモ

- 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの「FTP定期」タブで設定した解像度で保存されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「解像度」は、「SDメモリーカード」タブの「H.264動画録画」の「解像度」で設定されます。
- 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合、アラームページの「アラーム」タブで設定した解像度で保存されます。

■H.264動画録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」に設定されている場合のみ設定できます。

設定画面の上から2つ目の「設定」ボタンをクリックすると、下部に「H.264 動画録画」が表示されます。

【解像度】

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
QVGA / VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
320×180 / 640×360

初期設定：VGA

【モード】

録画するH.264を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。

固定ビットレート

：H.264画像を「ビットレート」で設定したビットレートで録画します。

フレームレート指定

：H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで録画します。

初期設定：固定ビットレート

【フレームレート*】

録画するH.264のフレームレートを以下から設定します。

- 1 fps / 3 fps / 5 fps * / 7.5 fps * /
10 fps * / 15 fps * / 20 fps * / 30 fps *

初期設定：30 fps *

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

メモ

- 「フレームレート*」は、「モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート*」は、「ビットレート」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

【ビットレート】

録画するH.264のビットレートを以下から選択します。

64 kbps / 128 kbps / 256 kbps /
384 kbps / 512 kbps / 768 kbps /
1 024 kbps / 1 536 kbps / 2 048 kbps /
3 072 kbps / 4 096 kbps

初期設定：1 536 kbps

【画質】

録画するH.264の画質を以下から選択します。

画質優先 / 標準 / 動き優先

初期設定：標準

メモ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

【リフレッシュ間隔】

録画するH.264をリフレッシュする間隔（1フレーム間隔：0.2～1秒）を以下から選択します。

0.2 s / 0.33 s / 0.5 s / 1 s

初期設定：1 s

■SDメモリーカード情報

【容量表示】

SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
-----KB/-----KB	SDメモリーカードを挿入していない。その他、読み取りエラーにより残容量を取得できない。
*****KB/*****KB	SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。

メモ

- 「上書き」が「上書きなし」に設定されているときや、SDメモリーカードの残容量が「0 KB」になると、SDメモリーカードに画像が保存されません。通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（[P.63](#)、[P.64](#)ページ）

【フォーマット】

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

重要

- フォーマットを実行する前に、基本ページの「SDメモリーカード」を「使用する」（[P.29](#)ページ）、ネットワークページの「FTP定期送信」を「Off」（[P.78](#)ページ）に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず「SDメモリーカード」タブでフォーマットしてから使用してください。「SDメモリーカード」タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
 - FTP定期送信に失敗した画像の保存 / 取得
 - アラーム発生時の画像の保存 / 取得
 - 手動保存時の画像の保存 / 取得
 - アラームログ、手動保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存 / 取得
 - 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存 / 取得
 - SDメモリーカード内の画像の再生 / ダウンロード
- フォーマットを実行したときに、他のユーザが操作中の場合、その操作が中断されます。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- 「保存モード」の設定を変更した場合、SDメモリーカードをフォーマットすることをおすすめします。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

- 推奨SDメモリーカード
パナソニック株式会社製 (別売り)
SDHCメモリーカード
： 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
SDメモリーカード
： 256 MB、512 MB、1 GB、2 GB
(miniSDカード、microSDカードは除く)
- SDメモリーカードはお買い上げ時の状態が、
SD規格準拠でフォーマットされているものを使用してください。

■SDメモリーカード画像取得

[画像取得]

SDメモリーカードから画像を取得します。

SDメモリーカード内の画像をPCに保存する [SDメモリーカード画像取得]

SP305 SF335

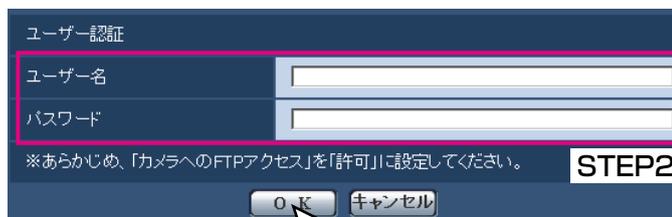
基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)
ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(※74ページ)

重要

- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

STEP1

「画像取得」の [実行] ボタンをクリックします。
→ユーザー認証画面が表示されます。



STEP2

STEP2

ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
→SDメモリーカード内の画像が保存されているフォルダが表示されます。

メモ

- 画像を取得するために本機にログインすると、最初にBドライブが表示されます。「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。ディレクトリー構造について詳しくは、95ページをお読みください。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

SDメモリーカードへの保存可能枚数 (目安) : JPEG保存時

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

解像度 : 1 280×960

単位 : 枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	64 000	80 000	96 000	112 000	128 000	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000
16GB	32 000	40 000	48 000	56 000	64 000	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000
8GB	16 000	20 000	24 000	28 000	32 000	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000
4GB	8 000	10 000	12 000	14 000	16 000	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000
2GB	4 000	5 000	6 000	7 000	8 000	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000
1GB	2 000	2 500	3 000	3 500	4 000	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000
512MB	1 000	1 250	1 500	1 750	2 000	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000
256MB	500	625	750	875	1 000	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500

解像度 : 1 280×720

単位 : 枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	76 800	102 400	128 000	140 800	166 400	230 400	294 400	358 400	384 000	409 600
16GB	38 400	51 200	64 000	70 400	83 200	115 200	147 200	179 200	192 000	204 800
8GB	19 200	25 600	32 000	35 200	41 600	57 600	73 600	89 600	96 000	102 400
4GB	9 600	12 800	16 000	17 600	20 800	28 800	36 800	44 800	48 000	51 200
2GB	4 800	6 400	8 000	8 800	10 400	14 400	18 400	22 400	24 000	25 600
1GB	2 400	3 200	4 000	4 400	5 200	7 200	9 200	11 200	12 000	12 800
512MB	1 200	1 600	2 000	2 200	2 600	3 600	4 600	5 600	6 000	6 400
256MB	600	800	1 000	1 100	1 300	1 800	2 300	2 800	3 000	3 200

解像度 : VGA

単位 : 枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000	352 000	416 000	448 000	480 000	512 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000	176 000	208 000	224 000	240 000	256 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000	88 000	104 000	112 000	120 000	128 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000	44 000	52 000	56 000	60 000	64 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000	22 000	26 000	28 000	30 000	32 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000	11 000	13 000	14 000	15 000	16 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000	5 500	6 500	7 000	7 500	8 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500	2 750	3 250	3 500	3 750	4 000

解像度 : 640×360

単位 : 枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	192 000	281 600	332 800	358 400	409 600	499 200	537 600	627 200	640 000	652 800
16GB	96 000	140 800	166 400	179 200	204 800	249 600	268 800	313 600	320 000	326 400
8GB	48 000	70 400	83 200	89 600	102 400	124 800	134 400	156 800	160 000	163 200
4GB	24 000	35 200	41 600	44 800	51 200	62 400	67 200	78 400	80 000	81 600
2GB	12 000	17 600	20 800	22 400	25 600	31 200	33 600	39 200	40 000	40 800
1GB	6 000	8 800	10 400	11 200	12 800	15 600	16 800	19 600	20 000	20 400
512MB	3 000	4 400	5 200	5 600	6 400	7 800	8 400	9 800	10 000	10 200
256MB	1 500	2 200	2 600	2 800	3 200	3 900	4 200	4 900	5 000	5 100

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

解像度：QVGA

単位：枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	384 000	416 000	432 000	448 000	480 000	512 000	576 000	608 000	640 000	672 000
16GB	192 000	208 000	216 000	224 000	240 000	256 000	288 000	304 000	320 000	336 000
8GB	96 000	104 000	108 000	112 000	120 000	128 000	144 000	152 000	160 000	168 000
4GB	48 000	52 000	54 000	56 000	60 000	64 000	72 000	76 000	80 000	84 000
2GB	24 000	26 000	27 000	28 000	30 000	32 000	36 000	38 000	40 000	42 000
1GB	12 000	13 000	13 500	14 000	15 000	16 000	18 000	19 000	20 000	21 000
512MB	6 000	6 500	6 750	7 000	7 500	8 000	9 000	9 500	10 000	10 500
256MB	3 000	3 250	3 375	3 500	3 750	4 000	4 500	4 750	5 000	5 250

解像度：320×180

単位：枚

SDメモリー カード/ SDHCメモリー カードの容量	画質									
	0 (最高画質)	1 (高画質)	2	3	4	5 (標準)	6	7	8	9 (低画質)
32GB	460 800	524 800	576 000	563 200	614 400	729 600	755 200	844 800	844 800	857 600
16GB	230 400	262 400	288 000	281 600	307 200	364 800	377 600	422 400	422 400	428 800
8GB	115 200	131 200	144 000	140 800	153 600	182 400	188 800	211 200	211 200	214 400
4GB	57 600	65 600	72 000	70 400	76 800	91 200	94 400	105 600	105 600	107 200
2GB	28 800	32 800	36 000	35 200	38 400	45 600	47 200	52 800	52 800	53 600
1GB	14 400	16 400	18 000	17 600	19 200	22 800	23 600	26 400	26 400	26 800
512MB	7 200	8 200	9 000	8 800	9 600	11 400	11 800	13 200	13 200	13 400
256MB	3 600	4 100	4 500	4 400	4 800	5 700	5 900	6 600	6 600	6 700

ログリストを設定する [ログ]

SP305 SF335

基本ページの [ログ] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、ログリストに関する設定を行います。



■アラーム

アラームログリストに関する設定を行います。

【ログ保存】

アラームログを保存するかどうかをOn / Offで設定します。

On：アラームログが保存されます。

Off：アラームログが保存されません。

初期設定：On

【画像ダウンロード先のディレクトリ名】

ログに関連付けした画像をダウンロードするPCの保存先ディレクトリ名を入力します。

例えば、Cドライブのalarmディレクトリを指定する場合は、「C:¥alarm」と入力します。

入力可能文字数：3～128文字

入力可能文字：半角英数字、半角記号¥:/_

■手動保存

手動保存ログリストに関する設定を行います。

On / Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダを指定します。

■FTP定期送信エラー

FTP送信エラーログリストに関する設定を行います。

On / Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダを指定します。

重要

- ネットワークページの [FTP定期] タブで「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。保存するためには、「ファイル名」を「ファイル名+日時」に設定してください。(※78ページ)

メモ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー」は設定できません。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

アラームのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		アラームのログと画像
アラーム： ログ保存	SDメモリー カードの使用	保存モード	
On	使用する	アラーム発生時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。
		上記以外	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されません。
	使用しない	—	ログ：最大1 000件まで保存されます。1 000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。 画像：保存されません。
Off	使用する	アラーム発生時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞33ページ）してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

手動保存のログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ			手動保存のログと画像
手動保存： ログ保存	SDメモリー カードの使用	保存モード	上書き	
On	使用する	手動保存	上書き する	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。
			上書き しない	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	—	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	手動保存	上書き する	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存 (P.33ページ) してから表示してください。
			上書き しない	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存 (P.33ページ) してから表示してください。
		上記以外	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	—	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

本機の基本設定を行う [基本] (つづき)

FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

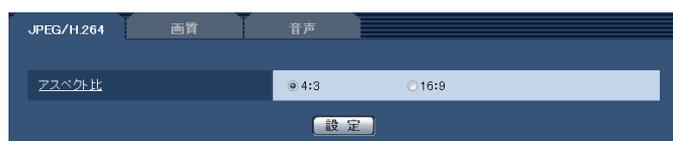
[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
On	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量が無くなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存 (P.33ページ) してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	—	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ]

カメラページでは、JPEG画像、H.264画像、MPEG-4画像の設定や、画質、音声に関する設定を行います。カメラページは、[JPEG/H.264] タブ (または [JPEG/MPEG-4] タブ)、[画質] タブ、[音声] タブで構成されています。

アスペクト比を設定する [JPEG/H.264]

カメラページの [JPEG/H.264] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)



【アスペクト比】

アスペクト比を4:3 / 16:9のどちらかに設定します。

初期設定：4:3

メモ

- 弊社の他のi-PROシリーズでは、特に明記されていない限り、「16:9」には対応していません (2010年6月現在)。
- MPEG-4 は、アスペクト比16:9 には対応していません。

- 「アスペクト比」を「16:9」に設定すると、「動画配信形式」は自動的に「H.264」の設定となります。
- 画質調整機能は、「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、アスペクト比4:3の画角を対象に動作します。逆光補正 (BLC) 機能のマスクエリアを設定する場合は、「アスペクト比」を「4:3」の撮像モードに切り換えて設定することをおすすめします。

JPEG画像を設定する [JPEG/H.264] (または [JPEG/MPEG-4])

カメラページの [JPEG/H.264] タブ (または [JPEG/MPEG-4] タブ) をクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)



■JPEG

ここでは、「画像更新速度*」、「解像度」、「画質」を設定します。H.264画像 (またはMPEG-4画像) に関する設定については41、45ページをお読みください。

【画像更新速度*】

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps /
1 fps / 2 fps / 3 fps / 5 fps / 6 fps * /
10 fps * / 15 fps * / 30 fps *

初期設定：5 fps

メモ

- 「H.264配信」(または「MPEG-4配信」)を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

【解像度 (初期表示)】

ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
QVGA / VGA / 1 280×960
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
320×180 / 640×360 / 1 280×720

初期設定：1 280×960

【画質】

JPEG画像の画質を設定します。

0 最高画質 / 1 高画質 / 2 / 3 / 4 / 5 標準 / 6 / 7 / 8 / 9 低画質

初期設定：5 標準

H.264画像に関する設定を行う [JPEG/H.264]

カメラページの [JPEG/H.264] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)
[JPEG/H.264] タブは「動画配信形式」を「H.264」に設定すると表示されます。

ここでは、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。

MPEG-4画像に関する設定については45ページを、JPEG画像に関する設定については40ページをお読みください。

【動画配信形式】

動画の配信形式をH.264 / MPEG-4のどちらかに設定します。

H.264 : 動画の配信形式をH.264に設定します。

以降の設定項目がH.264画像の配信設定になります。また、タブの名称が [JPEG/H.264] タブになります。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

MPEG-4：動画の配信形式をMPEG-4に設定します。以降の設定項目がMPEG-4画像の配信設定になります。(※45ページ)。また、タブの名称が [JPEG/MPEG-4] タブになります。

初期設定：H.264

■H.264 (1)・H.264 (2)

[H.264配信]

H.264画像を配信するかどうかをOn / Offで設定します。

- On : H.264画像を配信します。
- Off : H.264画像を配信しません。

初期設定：On

メモ

- 「H.264(1)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。
- 「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「H.264(2)」の配信はできません。その場合、「H.264(2)」の設定は、無効になります。

[インターネットモード (Over HTTP)]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。

On：HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については74ページをお読みください。

Off：UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

初期設定：Off

メモ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト (ポート番号設定：オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が10人以下に制限されます。

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
H.264(1)：QVGA / VGA / 1 280×960
H.264(2)：QVGA / VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
H.264(1)：320×180 / 640×360 / 1 280×720
H.264(2)：320×180 / 640×360

初期設定：

- H.264(1)：1 280×960
- H.264(2)：VGA

[配信モード]

H.264画像を固定ビットレート/フレームレート指定のどちらかに設定します。

固定ビットレート

：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートで配信します。

フレームレート指定

：H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。

初期設定：固定ビットレート

メモ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなる場合があります。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

【フレームレート*】

H.264画像のフレームレートを以下から設定します。
1 fps / 3 fps / 5 fps * / 7.5 fps * / 10 fps * /
15 fps * / 20 fps * / 30 fps *
初期設定：30 fps *

メモ

- 「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート*」は、「1クライアントあたりのビットレート*」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

【1クライアントあたりのビットレート*】

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
64 kbps / 128 kbps * / 256 kbps * /
384 kbps * / 512 kbps * / 768 kbps * /
1 024 kbps * / 1 536 kbps * / 2 048 kbps * /
3 072 kbps * / 4 096 kbps * / 8 192 kbps * /
制限なし *
初期設定
H.264(1)：4 096 kbps *
H.264(2)：1 536 kbps *
※8 192 kbps *は1 280×960または、1 280×
720設定時のみ
※64 kbps, 128 kbps *はQVGA、VGAまたは、
320×180、640×360設定時のみ
※制限なし * は「配信モード」で「フレームレート指
定」を設定時のみ

メモ

- H.264ビットレートは、ネットワークページの「ネットワーク」タブにある「配信量制御 (ビットレート)」と連動します (74ページ)。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「8 192 kbps *」または「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

【画質】

H.264画像の画質を以下から選択します。
画質優先 / 標準 / 動き優先
初期設定：標準

メモ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

【リフレッシュ間隔】

H.264画像をリフレッシュする間隔 (1フレーム間隔：0.2 ~ 5秒) を以下から選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。
0.2 s / 0.33 s / 0.5 s / 1 s / 2 s / 3 s /
4 s / 5 s
初期設定：3 s

【配信方式】

H.264画像の配信方式を以下から選択します。
●ユニキャスト (ポート番号設定：オート)：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1 (画像)」、「ユニキャストポート番号2 (音声)」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト (ポート番号設定：オート)」に設定することをお勧めします。
●ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1 (画像)」、「ユニキャストポート番号2 (音声)」を手動で設定する必要があります。
インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター (以下、ルーター) に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください (75ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
●マルチキャスト：
1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。
※最大同時アクセス数については、8ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト (ポート番号設定：オート)

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

[ユニキャストポート番号1 (画像)] ※1

ユニキャストポート番号 (本機から画像を送信するとき使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：

H.264(1)：32 004

H.264(2)：32 014

[ユニキャストポート番号2 (音声)] ※1

ユニキャストポート番号 (本機から音声を送信するとき使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：

H.264(1)：33 004

H.264(2)：33 014

[マルチキャストアドレス] ※2

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ~
239.255.255.255

IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス

初期設定

H.264(1)：239.192.0.20

H.264(2)：239.192.0.21

メモ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

[マルチキャストポート番号] ※2

マルチキャストポート番号 (本機から画像を送信するとき使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：37 004

メモ

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

[マルチキャストTTL/HOPLimit] ※2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

設定可能値：1 ~ 254

初期設定：16

重要

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使わないLANカードを無効にしてください。

※1 「配信方式」の「ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

※2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

MPEG-4画像に関する設定を行う [JPEG/MPEG-4]

カメラページの [JPEG/MPEG-4] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作のしかた:24、25ページ)
[JPEG/MPEG-4] タブは「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定すると表示されます。(※41ページ)
ここでは、MPEG-4画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。
H.264画像に関する設定については41ページを、JPEG画像に関する設定については40ページをお読みください。

■MPEG-4 (1)・MPEG-4 (2)

[MPEG-4配信]

MPEG-4画像を配信するかどうかをOn / Offで設定します。

On : MPEG-4画像を配信します。

Off : MPEG-4画像を配信しません。

初期設定 : On

重要

- 「アスペクト比」の設定が「16:9」の場合、MPEG-4は配信できません。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、MPEG-4配信はできません。

メモ

- 「MPEG-4(1)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでMPEG-4画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「MPEG-4(1)」および「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でMPEG-4画像を閲覧できます。
- 「MPEG-4(1)」または「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

[インターネットモード (Over HTTP)]

MPEG-4画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでMPEG-4画像を配信することができます。

On : HTTPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については74ページをお読みください。

Off : UDPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。

初期設定 : Off

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

メモ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト (ポート番号設定: オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、MPEG-4画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、MPEG-4画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が10人以下に制限されます。

【解像度】

MPEG-4画像の解像度をQVGA / VGAのどちらかに設定します。

初期設定：

MPEG-4(1) : VGA

MPEG-4(2) : VGA

【配信モード】

MPEG-4画像を固定ビットレート / フレームレート指定のどちらかに設定します。

固定ビットレート

：MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。

フレームレート指定

：MPEG-4画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。

初期設定：固定ビットレート

メモ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

【フレームレート *】

MPEG-4画像のフレームレートを以下から設定します。

1 fps / 3 fps / 5 fps * / 7.5 fps * / 10 fps * /

15 fps * / 20 fps * / 30 fps *

初期設定：30 fps *

メモ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

【1クライアントあたりのビットレート *】

1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。

64 kbps / 128 kbps * / 256 kbps * /

384 kbps * / 512 kbps * / 768 kbps * /

1 024 kbps * / 1 536 kbps * / 2 048 kbps * /

3 072 kbps * / 4 096 kbps * / 制限なし *

初期設定

MPEG-4(1) : 2 048 kbps *

MPEG-4(2) : 2 048 kbps *

※制限なし * は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

メモ

- MPEG-4ビットレートは、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「配信量制御 (ビットレート)」と連動します (74ページ)。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「制限なし *」に設定すると、MPEG-4画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

【画質】

MPEG-4画像の画質を以下から選択します。

画質優先 / 標準 / 動き優先

初期設定：標準

メモ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

【リフレッシュ間隔】

MPEG-4画像をリフレッシュする間隔 (1フレーム間隔：0.2 ~ 5秒) を以下から選択します。

ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

0.2 s / 0.33 s / 0.5 s / 1 s / 2 s / 3 s /

4 s / 5 s

初期設定：3 s

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

【配信方式】

MPEG-4画像の配信方式を以下から選択します。

- ユニキャスト (ポート番号設定：オート)：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1 (画像)」、「ユニキャストポート番号2 (音声)」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、MPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト (ポート番号設定：オート)」に設定することをお勧めします。

- ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)：
1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1 (画像)」、「ユニキャストポート番号2 (音声)」を手動で設定する必要があります。
インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合、ブロードバンドルーター (以下、ルーター) に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください (75ページ)。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。

- マルチキャスト：
1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでMPEG-4画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、8ページをお読みください。

初期設定：ユニキャスト (ポート番号設定：オート)

【ユニキャストポート番号1 (画像)] ※1

ユニキャストポート番号 (本機から画像を送信するときに使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：

MPEG-4(1)：32 004

MPEG-4(2)：32 014

【ユニキャストポート番号2 (音声)] ※1

ユニキャストポート番号 (本機から音声を送信するときに使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：

MPEG-4(1)：33 004

MPEG-4(2)：33 014

【マルチキャストアドレス] ※2

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ~

239.255.255.255

IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス

初期設定：

MPEG-4(1)：239.192.0.20

MPEG-4(2)：239.192.0.21

メモ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

【マルチキャストポート番号] ※2

マルチキャストポート番号 (本機から画像を送信するときに使用) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000
(偶数のみ設定可能)

初期設定：37 004

メモ

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

【マルチキャストTTL/HOPLimit] ※2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

設定可能値：1 ~ 254

初期設定：16

重要

- インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使わないLANカードを無効にしてください。

※1 「配信方式」の「ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

※2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

画像とプライバシーゾーンを設定する [画質]

カメラページの [画質] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作のしかた：24、25ページ)
各項目の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示されます。[画質] タブに表示されている画像を見ながら、詳細設定を行います。
画質調整、プライバシーゾーンの設定について以下に説明します。



【画質調整】

[詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が表示されます。設定画面は別ウインドウで表示されます。(☞49ページ)

【プライバシーゾーン】

[詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が表示されます。
(☞53ページ)

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

画質の調整を行う (画質調整画面)

カメラページの [画質] タブで、「画質調整」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。(P.48ページ)
画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、[画質] タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

重要

- 画質調整機能は、「アスペクト比」を「16:9」に設定している場合でも、アスペクト比4:3の画角を対象に動作します。



【ワイドダイナミックレンジ】

ワイドダイナミックレンジ機能を有効にするかどうかをOn / Offで設定します。

ワイドダイナミックレンジ機能は、照度差がある被写体でも明るさを補正し、自然な画像で確認できます。

On : ワイドダイナミックレンジ機能を働かせます。

Off : ワイドダイナミックレンジ機能を停止します。

初期設定 : Off

重要

- ワイドダイナミックレンジ機能を使用すると、被写体の暗い部分のノイズが増えることがあります。
- 「光量制御モード」を「屋外撮影」または「フリッカレス」に設定しているときのみ設定できます。

【顔連動制御】

顔連動制御設定では、人物の顔が暗くて見えにくい場合などに、顔検出機能とワイドダイナミックレンジを連動させて、画像の顔部分を明るく見やすく補正することができます。

ワイドダイナミックレンジ機能を働かせる時に、顔検出機能と連動するかどうかをOn / Offで設定します。

On : 顔連動制御を働かせます。顔周辺に合わせてダイナミックレンジ制御を行います。

Off : 顔連動制御を停止します。

初期設定 : Off

メモ

- 「ワイドダイナミックレンジ」が「Off」に設定されている場合は、顔連動制御は設定できません。
- 強い逆光により人物の顔が非常に暗くなってしまいう環境などでは、効果がわかりにくい場合があります。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

【暗部補正】

暗部補正機能を有効にするかどうかをOn / Offで設定します。暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。

On : 暗部補正機能を有効にします。

Off : 暗部補正機能を停止します。

初期設定 : Off

重要

- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

メモ

- 「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定していると、「暗部補正」は設定できません。

【逆光補正 (BLC)】

逆光補正 (BLC) 機能を有効にするかどうかをOn / Offで設定します。

「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定した場合は設定できません。

逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。

On : マスクエリアが自動で設定されます。

Off : マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。

初期設定 : Off

【マスクエリア】

「逆光補正 (BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

マスクエリアの設定方法については、52ページをお読みください。

【光量制御モード】

光量制御を行うモードを以下から選択します。

屋外撮影

- : 明るさ (照度) によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー (ちらつき) が発生することがありますので、注意してください。

フリッカレス (50 Hz)

フリッカレス (60 Hz)

- : 蛍光灯によるフリッカー (ちらつき) を自動補正します。地域によって50 Hz / 60 Hzを使い分けます。

ELC **SP305** **SP304V**

- : 固定絞りレンズや手動絞りレンズを使用するときにこの設定にします。

固定シャッター

- : 設定した値にシャッター速度を固定します。

1/30固定 / 3/100固定 / 3/120固定 /
2/100固定 / 2/120固定 / 1/100固定 /
1/120固定 / 1/250固定 / 1/500固定 /
1/1 000固定 / 1/2 000固定 /
1/4 000固定 / 1/10 000固定

初期設定 : 屋外撮影

メモ

- シャッター速度を速くする (~ 1/10 000) と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。
- 「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定している場合、「屋外撮影」、「フリッカレス (60 Hz)」、「フリッカレス (50 Hz)」のみ選択可能です。

【ゲイン】

ゲインの調節方法を以下から選択します。

On (High) / On (Mid) / On (Low)

- : 被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインが上がり画面を明るくします。() 内のHigh / Mid / Lowはゲインのレベルです。

Off : ゲインを常に固定した状態で撮影します。

初期設定 : On (High)

【オートスローシャッター】

オートスローシャッターは、MOSの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。

設定できる値は以下のとおりです。

Off (1/30 s) / 最大2/30 s / 最大4/30 s /
最大6/30 s / 最大10/30 s / 最大16/30 s

初期設定 : Off (1/30 s)

重要

- 「オートスローシャッター」を設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点 (傷) が見える場合があります。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

メモ

- 「最大16/30 s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。「ゲイン」を「Off」に設定した場合は、設定できません。

【簡易白黒切換】

白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。

- Off : カラー画像が選択されます。
- Auto : カメラの周囲の明るさ(照度)が約1.0 lx以下で白黒映像に切り換えます。

初期設定 : Off

【ホワイトバランス】

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。Rボリューム(赤色の調節)またはBボリューム(青色の調節)で白の色合いを調節します。

- ATW1 : 自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2 700 K ~ 6 000 Kです。
- ATW2 : ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2 000 K ~ 6 000 Kです。
- AWC : 自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2 000 K ~ 10 000 Kです。

初期設定 : ATW1

メモ

- 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
 - ・大部分が濃い色の被写体
 - ・抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
 - ・照度が低くすぎる被写体
- 「AWC」を選択した場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。

【Rボリューム】

画像の赤色を調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと、赤色は濃くなります。カーソルを「-」方向に動かすと、赤色は薄くなります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定 : 128

【Bボリューム】

画像の青色を調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと、青色は濃くなります。カーソルを「-」方向に動かすと、青色は薄くなります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定 : 128

【デジタル・ノイズ・リダクション】

デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを低減します。ここでは、デジタルノイズリダクションの効果のレベルをLow / Highで設定します。

- High : 効果大ですが、残像が多くなります。
- Low : 効果小ですが、残像は少なくなります。

初期設定 : High

【クロマレベル】

クロマレベル(色の濃さ)を調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと、色は全体に濃くなります。カーソルを「-」方向に動かすと、色は全体に薄くなります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定 : 128

【アパーチャレベル】

アパーチャレベル(輪郭補正)を調節します。

カーソルを「+」の方向に動かすとシャープな画像になり、「-」の方向に動かすとソフトな画像になります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定 : 16

【ペDESTALレベル】

カーソルを動かして画像の黒レベルを調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと、画像は明るくなります。カーソルを「-」方向に動かすと、画像は暗くなります。[リセット] ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定 : 128

【閉じる】 ボタン

画質調整画面を閉じます。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

マスクエリアを設定する

「逆光補正 (BLC)」を「Off」に設定 (P.50ページ) すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

STEP1

画質調整設定画面を表示します。(P.48ページ)



STEP2

「マスクエリア」の [開始] ボタンをクリックします。
→境界線が表示され、[画質] タブ上に表示された画像が48 (6×8) に分割されます。「アスペクト比」が「16:9」の場合、32 (4×8) に分割されます。



STEP3

マスクをかける分割エリアをクリックします。
→クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。

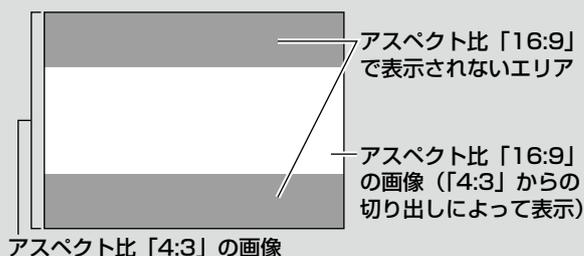


STEP4

マスクエリアを設定したら、[終了] ボタンをクリックします。
→ [画質] タブの画像の上から枠が消えます。

重要

- JPEG / H.264のアスペクト比が「16:9」に設定されている場合、下図のように4:3のアスペクト比の画像から切り出して表示しています。そのため、アスペクト比を「16:9」に設定している場合でも、表示されていないマスクエリアの明るさの影響を受けます。一度、アスペクト比を「4:3」に設定してマスクエリアの設定を行なうことをおすすめします。



メモ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、[リセット] ボタンをクリックします。

画像・音声に関する設定を行う【カメラ】（つづき）

プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

カメラページの「画質」タブの「プライバシーゾーン」の「詳細設定へ>>」ボタンをクリックします。
([図48ページ](#))

撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定できます。プライバシーゾーンは2か所まで設定できます。



【エリア】

設定したい範囲をマウスでドラッグすると、プライバシーゾーンとして設定されます。各ゾーンは重なって設定することもできます。ゾーンは2か所まで設定できます。

【表示形式】

プライバシーゾーンの表示形式を以下に設定します。

塗潰し : グレーで表示されます。

Off : 表示しません。

初期設定 : Off

メモ

- プライバシーゾーンは、隠す対象よりも広めに設定してください。

【閉じる】 ボタン

プライバシーゾーン設定画面を終了します。

音声を設定する [音声]

カメラページの [音声] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは音声に関する設定を行います。

メモ

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。



【音声モード】

本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを以下から設定します。

- Off : 本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
- 受話 : 本機からの音声データをPCが受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
- 送話 : **SP305** **SF335**
PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
- 双方向 (半二重) : **SP305** **SF335**
受話・送話の両方を行うことができます。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。
- 双方向 (全二重) : **SP305** **SF335**
受話・送話の両方を同時に行うことができます。

初期設定：Off

メモ

- 使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
- カメラページの [JPEG/H.264] タブ (または、[JPEG/MPEG-4] タブ) の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されていると、H.264画像 (またはMPEG-4画像) を監視している間、送話は行えません。送話を行うには、ライブ画ページの [JPEG] ボタンをクリックしてください。

【ビットレート】

音声を送信／受信するときのビットレートを16 kbps / 32 kbpsのどちらかに設定します。
初期設定：32 kbps

メモ

- 「配信量制御 (ビットレート)」 (☞74ページ) を小さい値で使用する場合に、JPEG画像の更新やH.264画像 (またはMPEG-4画像) の配信を優先させたいときは、「ビットレート」を「16 kbps」に設定します。

画像・音声に関する設定を行う [カメラ] (つづき)

【受話音量 (PCで聞く)】

本機からの音声をPCで聞くときの音量を設定します。

マイク 強：音量を強に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。

マイク 中：音量を中に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。

マイク 弱：音量を弱に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。

ライン 強： **SP305** **SF335** **SF334**
音量を強に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。

ライン 中： **SP305** **SF335** **SF334**
音量を中に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。

ライン 弱： **SP305** **SF335** **SF334**
音量を弱に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。

初期設定：マイク 中

【受話間隔 (PCで聞く)】

音声の受話間隔を以下から選択します。

20 ms / 40 ms / 80 ms / 160 ms

初期設定：40 ms

メモ

- 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。

【送話音量 (PCから話す)】 **SP305** **SF335**

PCからの音声を本機から流すときの音量を設定します。

強 / 中 / 弱

初期設定：中

【送話間隔 (PCから話す)】 **SP305** **SF335**

音声の送話間隔を以下から選択します。

160 ms / 320 ms / 640 ms / 1 280 ms

初期設定：640 ms

メモ

- 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
- 本機に複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声の途切れや雑音が発生することがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。
- お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。

【送話先ポート番号 (PCから話す)】 **SP305** **SF335**

送話先ポート番号 (PCから本機へ音声を送信するときのカメラ側のポート番号) を入力します。

設定可能ポート番号：1 024 ~ 50 000

(偶数のみ設定可能)

初期設定：34 004

メモ

- 「送話先ポート番号 (PCから話す)」に入力された送話先ポート番号は、「配信方式」を「ユニキャスト (ポート番号設定：マニュアル)」(43、47ページ) に設定している場合のみ使用されます。「H.264配信」(または「MPEG-4配信」)の「Off」(41、45ページ)、あるいは「配信方式」の「ユニキャスト (ポート番号設定：オート)」または「マルチキャスト」を選択している場合は、送話先ポート番号を入力する必要はありません。

【音声許可レベル】

音声の送信 / 受信を許可するアクセスレベルを以下から選択します。

1. 管理者のみ / 2. カメラ制御以上 / 3. すべて許可

初期設定：3. すべて許可

メモ

- アクセスレベルについては、67、68ページをお読みください。

マルチスクリーンを設定する [マルチスクリーン]

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。(設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

グループA	IPアドレス	カメラタイトル
カメラ1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ3	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ4	<input type="text"/>	<input type="text"/>

設定

グループB	IPアドレス	カメラタイトル
カメラ5	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ6	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ7	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ8	<input type="text"/>	<input type="text"/>

設定

グループC	IPアドレス	カメラタイトル
カメラ9	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ10	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ11	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ12	<input type="text"/>	<input type="text"/>

設定

グループD	IPアドレス	カメラタイトル
カメラ13	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ14	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ15	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カメラ16	<input type="text"/>	<input type="text"/>

設定

[IPアドレス]

マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。

入力例：

IPv4アドレスの入力例：

192.168.0.10: 8080

IPv6アドレスの入力例：

[2001:db8:0:0:0:0:1]:8080

入力可能文字数：1～128文字

[カメラタイトル]

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

入力可能文字数：0～20文字

メモ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。
- 「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、マルチスクリーンの表示は「4:3」になります。

メモ

- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。(74ページ)

アラーム設定を行う [アラーム]

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定やアラーム通知に関する設定を行います。

アラームページは、[アラーム] タブ、[VMDエリア] タブ、[通知] タブで構成されています。

アラーム動作に関する設定を行う [アラーム]

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。

アラーム	
端子	Off
VMDアラーム	VMD設定へ
コマンドアラーム	コマンドアラーム <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
受信ポート番号	8181 (1-65535)

設定

■アラーム

【端子】 SP305 SF335

端子の動作設定を行います。

Off : 使用しません。

アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。

初期設定：Off

メモ

- 各端子の入力／出力定格については、取扱説明書基本編をお読みください。

【VMDアラーム】

「VMD設定へ」をクリックすると、アラームページの [VMDエリア] タブが表示されます。

【コマンドアラーム】

コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn / Offで設定します。

コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。

初期設定：Off

【受信ポート番号】

コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。設定可能範囲：1 ~ 65 535

初期設定：8 181

アラーム画像に関する設定を行う [アラーム]

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。(☞71ページ)

重要

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。(☞30ページ)

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

■アラーム画像

[FTP設定へ]

クリックするとサーバーページの [FTP] タブが表示されます。(P.71ページ)

[アラーム画像送信]

アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

[ディレクトリー名]

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。

入力可能文字数：1～256文字

[ファイル名]

FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存される時のファイル名は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名+日時（年月日時分秒）+連続番号

入力可能文字数：1～32文字

[ポストアラーム]

●画像更新速度

アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。

0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps / 1 fps

初期設定：1 fps

●画像枚数

送信する画像の枚数を以下から選択します。

1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚 / 7枚 / 8枚 / 9枚 / 10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1 000枚 / 2 000枚 / 3 000枚

初期設定：100枚

●録画時間

設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

[解像度]

FTPサーバーへ送信するときの画像やアラームメールに添付する画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合

QVGA / VGA / 1 280×960

- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合

320×180 / 640×360 / 1 280×720

初期設定：VGA

[アラーム時の画質制御]

アラーム発生時の画質を変更するかどうかをOn / Offで設定します。

On：アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。

Off：アラーム発生時に画質を変更しません。

初期設定：Off

[アラーム時の画質]

アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。

0 最高画質 / 1 高画質 / 2 / 3 / 4 / 5 標準 / 6 / 7 / 8 / 9 低画質

初期設定：5 標準

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

動画録画に関する設定を行う [アラーム]

SP305 SF335

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、アラームを検出したときにSDメモリーカードへ動画録画 (H.264データ) をする場合の動画の保存容量の設定を行います。動画録画するには、SDメモリーカードの設定、動画データに関する設定が必要です。(※29ページ)



■H.264動画録画

[プレアラーム]

アラーム発生前の録画を行うかどうかを選択します。「使用する」に設定した場合、1 MB分のデータが保存されます。

使用する／使用しない

初期設定：使用しない

[ポストアラーム時間]

アラーム発生後に、SDメモリーカードに保存する時間を設定します。

10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 / 120 /
180 / 240 / 300 秒

初期設定：30 秒

※ポストアラーム時間で設定した時間より、実際の録画時間は長くなる場合があります。

[1回のアラームで使用する容量 (目安)]

1アラーム分の動画録画で使用するSDメモリーカード容量を表示します (本表示はあくまで目安となります。実際の使用容量とは異なる場合があります)。

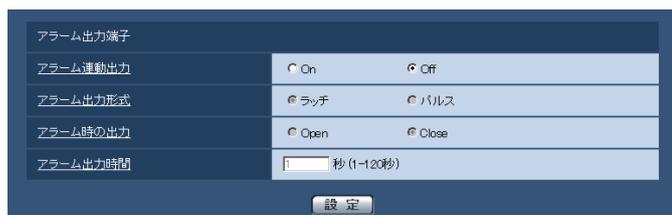
重要

- 動画録画するためには、[SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定する必要があります。また、「録画圧縮方式」を「H.264」に設定する必要があります。(※29ページ)

アラーム出力端子に関する設定を行う [アラーム]

SP305 SF335

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、アラーム出力端子に関する設定を行います。



■アラーム出力端子

[アラーム連動出力]

アラームを検出したときに、アラーム出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

[アラーム出力形式]

アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

ラッチ : アラームを検出したとき、アラーム発生通知ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。

パルス : アラームを検出したとき、「アラーム出力時間」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。

初期設定 : ラッチ

【アラーム時の出力】

アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOpen / Closeで設定します。

Open : アラーム出力時の端子をOpen状態にします (通常はClose)。

Close : アラーム出力時の端子をClose状態にします (通常はOpen)。

初期設定 : Close

メモ

- 「Open」に設定すると、本機の電源を入れたとき、約20秒間アラームが出力されます。

【アラーム出力時間】

「アラーム出力端子」で「パルス」を選択した場合に、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を設定します。

設定可能範囲 : 1 ~ 120秒

初期設定 : 1秒

AUX名称を変更する [アラーム]

SP305 SF335

アラームページの [アラーム] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作 : 24、25ページ) ライブ画ページの「AUX」、「Open」、「Close」の名称を変更できます。



■AUX名称

【AUX (10文字まで)】

ライブ画ページの「AUX」の名称を入力します。

初期設定 : AUX

【Open (5文字まで)】

ライブ画ページの [AUX] ボタンの「Open」の名称を入力します。

初期設定 : Open

【Close (5文字まで)】

ライブ画ページの [AUX] ボタンの「Close」の名称を入力します。

初期設定 : Close

メモ

- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作 (Open / Close) できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- iモード端末の表示には、変更した名称は反映されません。

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

VMDの設定を行う [VMDエリア]

アラームページの [VMDエリア] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。

エリアは4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。

重要

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用としてアラーム発生通知ボタンを表示 (☞10ページ) します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合やコマンドアラームを受け付けた場合にも、アラーム発生通知ボタンが表示されます。
- 基本ページの [基本] タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定 (☞28ページ) している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。



[エリア]

画像内でVMDエリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。

[状態]

VMD検出を行うかどうかを有効/無効で設定します。

有効：VMD検出を行います。

無効：VMD検出を行いません。

初期設定：無効

[検出面積]

VMDエリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値 (1 ~ 10) はスライダーバーの右に表示されます。

初期設定：1

[検出感度]

エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。各エリア毎に個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。現在の設定値 (1 (低い) ~ 15 (高い)) はスライダーバーの下に表示されます。

初期設定：8

[削除]

削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。

[照明検出抑止]

照明の明るさなどの変化によるVMD検出を行わないように設定するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

重要

- 照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
- 照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、VMD検出を行わないことがあります。

■VMD情報付加

[情報付加]

画像にVMD情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn / Offで設定します。

VMD情報は、弊社製ネットワークディスクレコーダー (DG-ND400シリーズ) の検索機能で活用することができます。機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

初期設定：Off

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

VMD検出エリアを設定する [VMDエリア]

VMDエリアを設定します。

重要

- 設定画面で設定を変更中は、VMDアラームを検出しないことがあります。

STEP1

画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。
→指定した場所がエリア「1 (白)」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。



STEP4

STEP2

STEP5

STEP3
STEP6

STEP2

「検出面積」「検出感度」をスライダバーで設定します。
「検出面積」「検出感度」については、61ページをお読みください。
表示されているエリアと検出感度での動き検出状況が「検出面積」に表示されます。必要に応じてエリアや「検出面積」「検出感度」を変更します。

STEP3

設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。

重要

- [設定] ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

STEP4

VMDエリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、[設定] ボタンをクリックします。
→無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

STEP5

VMDエリアを削除する場合は、削除するエリアの [削除] ボタンをクリックします。
→削除したエリアの枠が消去されます。

STEP6

[設定] ボタンをクリックします。
→設定内容が本機に反映されます。

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

メール通知に関する設定を行う [通知]

アラームページの [通知] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。(☞70ページ)

■メール通知

[メール設定へ]

クリックすると、サーバーページの [メール] タブが表示されます。(☞70ページ)

[メール通知]

以下の場合にメール通知を行うかどうかをOn / Offで設定します。

- アラーム発生時 (メール通知先「アラーム」欄)
- SDメモリーカード残容量通知時 (メール通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**
- SDメモリーカードの空き容量不足時 (メール通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**
- SDメモリーカードの認識エラー時 (メール通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**

初期設定：Off

[画像添付]

アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

メモ

- [アラーム] タブの「解像度」(☞58ページ) で設定した解像度の画像を添付して送信します。

■メール通知先

[メール通知先1] ~ [メール通知先4]

通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。

「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、メール通知します。

「診断」欄：チェックを入れると、SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時にメール通知します。

「通知先メールアドレス」欄：通知先のメールアドレスを入力します。

設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの [削除] ボタンをクリックします。
入力可能文字数：3 ~ 128文字

[メール件名]

アラームメールの件名を入力します。
入力可能文字数：0 ~ 50文字

[メール本文]

アラームメールの本文を入力します。
入力可能文字数：0 ~ 200文字

メモ

- SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードフル」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカード認識エラー」というメール本文で送信されます。

アラーム設定を行う [アラーム] (つづき)

独自アラーム通知に関する設定を行う [通知]

アラームページの [通知] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

ここでは、独自アラーム通知に関する設定を行います。

■独自アラーム通知

【独自アラーム通知】

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn / Offで設定します。

- アラーム発生時 (独自アラーム通知先「アラーム」欄)
- SDメモリーカード残容量通知時 (独自アラーム通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**
- SDメモリーカードの空き容量不足時 (独自アラーム通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**
- SDメモリーカードの認識エラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄) **SP305** **SF335**
- 本機の点検時期通知時 (独自アラーム通知先「診断」欄)

初期設定：Off

メモ

- 独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知されます(「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ)。

【通知先ポート番号】

独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。

設定可能範囲：1～65 535

初期設定：1 818

【リトライ回数】

独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。

設定可能範囲：0～30

初期設定：2

■独自アラーム通知先

【独自アラーム通知先1】～【独自アラーム通知先8】

独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。ホスト名での指定はできません。通知先は8件まで設定できます。

「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

「診断」欄：チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラー、本機の点検時期を通知します。

「通知先IPアドレス」欄

：通知先のIPアドレスを入力します。

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の [削除] ボタンをクリックします。

重要

- 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。

画像認識の設定 [画像認識]

画像認識ページでは、XML通知の設定、顔検出に関する情報の通知先の設定、顔検出に関する設定を行います。画像認識ページは、[XML通知] タブ、[顔検出] タブで構成されています。

XML通知を設定する [XML通知]

画像認識ページの [XML通知] タブをクリックします。

ここでは、XML通知に関する設定を行います。XML通知とは、顔検出情報をXML形式でサーバーなどに通知する機能です。

■XML通知

[XML通知]

XMLによる顔検出に関する情報を通知するかどうかを On / Off で設定します。

初期設定：Off

[通知間隔]

通知間隔を 1 s / 2 s のどちらかに設定します。

初期設定：1 s

顔検出情報の通知先を設定する [XML通知]

画像認識ページの [XML通知] タブをクリックします。

ここでは、顔検出情報の通知先を設定します。

画像認識の設定 [画像認識] (つづき)

■顔検出情報XML通知先設定

[通知先1] [通知先2] [通知先アドレス]

顔検出情報のXML通知先のIPアドレスまたはホスト名の設定を行います。

[通知先ポート番号]

顔検出情報のXML通知先のポート番号の設定を行います。

[通知先パス名]

顔検出情報のXML通知先のディレクトリーを設定します。

[ユーザー名]

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

[パスワード]

パスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

顔検出の設定をする [顔検出]

画像認識ページの [顔検出] タブをクリックします。

ここでは、顔検出の検出枠の表示に関する設定と、顔検出の情報を画像に付加するかどうかの設定を行います。

重要

- 顔検出機能は、画像内の顔の検出を保証するものではありません。撮像条件によっては、顔を検出しない場合があります。



■顔検出

[顔検出]

顔検出機能を動作させるかどうかを設定します。

On：顔検出枠の情報を付加すると同時に、本ページの画像にテスト用の検出枠を表示します。

Off：顔検出枠の情報を付加しません。本ページの画像には、検出枠が表示されません。

初期設定：Off

[検出情報XML通知]

顔検出に関する情報の通知先を設定します。

「XML通知へ」をクリックすると、[XML通知] タブが表示されます。(☞65ページ)

認証を設定する [ユーザー管理]

ユーザー管理ページでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。

ユーザー管理ページは、[ユーザー認証] タブ、[ホスト認証] タブ、[システム] タブで構成されています。

ユーザー認証を設定する [ユーザー認証]

ユーザー管理ページの [ユーザー認証] タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ）ここでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。最大18ユーザーまで登録できます。

メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

【ユーザー認証】

ユーザー認証をするかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

【ユーザー名】

ユーザー名を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

初期設定：空欄

【パスワード】 / 【パスワード確認】

パスワードを入力します。

入力可能文字数：4～32文字

初期設定：空欄

メモ

- 登録済みのユーザー名を入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

【アクセスレベル】

ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。

- 1.管理者：本機のすべての操作を行うことができます。
- 2.カメラ制御：画像表示、本機の操作が行えます。本機の設定はできません。
- 3.ライブ画表示：ライブ画表示のみ行えます。本機の操作、設定はできません。

初期設定：3.ライブ画表示

【ユーザー確認】

「ユーザー確認」の [▼] をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。

登録ユーザーは「登録したユーザー名 [アクセスレベル]」で表示されます。

（例：admin [1]）

右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

ホスト認証を設定する [ホスト認証]

ユーザー管理ページの [ホスト認証] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、本機にアクセスできるPC (IPアドレス) を制限するホスト認証設定を行います。



【ホスト認証】

ホスト認証をするかどうかをOn / Offで設定します。
初期設定：Off

【IPアドレス】

本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

【ホスト確認】

「ホスト確認」の [▼] をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。
ホストは「登録したIPアドレス [アクセスレベル]」で表示されます。

(例：192.168.0.21 [1])

右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したホスト (IPアドレス) を削除できます。

メモ

- 「IPアドレス / サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.0」～「192.168.0.255」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

【アクセスレベル】

ホストのアクセスレベルを以下から選択します。

1.管理者 / 2.カメラ制御 / 3.ライブ画表示

アクセスレベルについては、67ページをお読みください。

初期設定：3.ライブ画表示

優先ストリームを設定する [システム]

ユーザー管理ページの [システム] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

The screenshot shows the 'システム' (System) tab in a web interface. Under the '優先ストリーム' (Priority Streaming) section, there are several settings: '優先ストリーム' (Priority Streaming) with radio buttons for 'On' and 'Off'; '送信先IPアドレス(1)' (Destination IP Address (1)) and '送信先IPアドレス(2)' (Destination IP Address (2)) as text input fields; 'ストリーム種別' (Stream Type) as a dropdown menu currently set to 'JPEG'; '画像更新速度*' (Image Update Speed*) as a dropdown menu set to '1fps'; and '解像度' (Resolution) as a dropdown menu set to '1280x960'. A '設定' (Settings) button is located at the bottom of the form.

■優先ストリーム

【優先ストリーム】

優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

メモ

- 「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

【送信先IPアドレス (1)】

1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

【送信先IPアドレス (2)】

2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

【ストリーム種別】

JPEG / H.264・MPEG-4(1) / H.264・MPEG-4(2)のいずれかを選択します。

JPEG : JPEG画像が配信されます。

H.264・MPEG-4(1)

: H.264(1) (またはMPEG-4(1)) 画像が配信されます。

H.264・MPEG-4(2)

: H.264(2) (またはMPEG-4(2)) 画像が配信されます。

初期設定：JPEG

メモ

- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「H.264(2)」の配信はできません。その場合、「H.264・MPEG-4(2)」は無効になります。

【画像更新速度】

画像の更新速度を以下から選択します。

「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。

0.1 fps / 0.2 fps / 0.33 fps / 0.5 fps /
1 fps / 2 fps / 3 fps / 5 fps / 6 fps * /
10 fps * / 15 fps * / 30 fps *

初期設定：1 fps

メモ

- 「H.264 (MPEG-4) 配信」を「ON」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

【解像度】

画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
QVGA / VGA / 1 280×960
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
320×180 / 640×360 / 1 280×720

「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。

初期設定：1 280×960

サーバーの設定をする [サーバー]

サーバーページでは、メールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーの設定を行います。
サーバーページは、[メール] タブ、[FTP] タブ、[NTP] タブで構成されています。

メールサーバーを設定する [メール]

サーバーページの [メール] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、アラームメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

重要

- 電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

[SMTPサーバーアドレス]

電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

[SMTPポート番号]

メールを送信するポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65 535

初期設定：25

[POPサーバーアドレス]

「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

重要

- 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(☞74ページ)

[認証 認証方法]

メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。

なし：認証しません

POP before SMTP

：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。

SMTP：SMTPサーバーの認証を行います。

初期設定：なし

メモ

- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[認証 ユーザー名]

サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

[認証 パスワード]

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

[送信者メールアドレス]

送信元のメールアドレスを入力します。

入力したメールアドレスは、受信メールの「From (差出人)」欄に表示されます。

入力可能文字数：3～128文字

サーバーの設定をする [サーバー] (つづき)

FTPサーバーを設定する [FTP]

サーバーページの [FTP] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。



【FTPサーバーアドレス】

画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

重要

- 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(☞74ページ)

【ユーザー名】

FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

【パスワード】

FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

【コントロールポート番号】

FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65 535

初期設定：21

【モード】

FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。

通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。

初期設定：パッシブモード

サーバーの設定をする [サーバー] (つづき)

NTPサーバーを設定する [NTP]

サーバーページの [NTP] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

【時刻調整】

時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

マニュアルセッティング：基本ページの [基本] タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

NTP サーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

初期設定：マニュアルセッティング

【NTPサーバーアドレス】

NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～128文字

初期設定：なし (空白)

重要

- 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの [ネットワーク] タブでDNSの設定を行う必要があります。(※74ページ)

【ポート番号】

NTPサーバーのポート番号を入力します。

設定可能ポート番号：1～65 535

初期設定：123

【時刻更新間隔】

NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。

初期設定：1 h

【タイムゾーン】

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

初期設定：(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

ネットワークの設定 [ネットワーク]

ネットワークページでは、ネットワーク設定およびDDNS (Dynamic DNS)、SNMP (Simple Network Management Protocol) に関する設定を行います。

ネットワークページは、[ネットワーク]、[DDNS]、[SNMP]、[FTP定期] の4つのタブで構成されています。

ネットワークを設定する [ネットワーク]

ネットワークページの [ネットワーク] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。

ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ (ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス (DNSを使用する場合)

The screenshot shows the 'Network' configuration page with the following settings:

- IPv4ネットワーク**
 - DHCP: On Off
 - IPアドレス(IPv4): 192.168.0.10
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ: 192.168.0.1
- IPv6ネットワーク**
 - 手動設定: On Off
 - IPアドレス(IPv6): [Empty field]
- IPv6/IPv4共通**
 - DNS: Auto Manual
 - プライマリーサーバーアドレス: [Empty field]
 - セカンダリーサーバーアドレス: [Empty field]
 - HTTPポート番号: 80 (1-65535)
 - 通信速度: Auto
- カメラへのFTPアクセス**: 許可 禁止
- 配信量制限(ビットレート)**: 制限なし
- 距離単位有効期間**: 20分間 無制限

■IPv4ネットワーク

[DHCP]

DHCP機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：Off

[IPアドレス (IPv4)]

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

初期設定：192.168.0.10

メモ

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

初期設定：255.255.255.0

ネットワークの設定 [ネットワーク] (つづき)

[デフォルトゲートウェイ]

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

初期設定：192.168.0.1

メモ

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■IPv6ネットワーク

[手動設定]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn / Offで設定します。

On : 手動でIPv6アドレスを入力します。

Off : IPv6アドレスの手動入力できません。

初期設定：Off

[IPアドレス (IPv6)]

「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

メモ

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

■IPv6/v4共通

[DNS]

DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。

DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

初期設定：Manual

[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

メモ

- IPv4 DNSサーバーとIPv6 DNSサーバーの混在はできません。

[HTTPポート番号]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

設定可能ポート番号：1 ~ 65 535

初期設定：80

<すでに使用されているポート番号>

20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 59 000 ~ 61 000

[通信速度]

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをおすすめします。

Auto : 通信速度が自動設定されます。

100 M-Full : 100 Mbps 全二重

100 M-Half : 100 Mbps 半二重

10 M-Full : 10 Mbps 全二重

10 M-Half : 10 Mbps 半二重

初期設定：Auto

[カメラへのFTPアクセス]

カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可 / 禁止で選択します。

初期設定：禁止

[配信量制御 (ビットレート)]

データの配信量を以下から選択します。

制限なし / 64 kbps / 128 kbps / 256 kbps /

384 kbps / 512 kbps / 768 kbps /

1 024 kbps / 2 048 kbps / 4 096 kbps /

8 192 kbps

初期設定：制限なし

ネットワークの設定 [ネットワーク] (つづき)

メモ

- 「64 kbps」を選択した場合は、[音声] タブの「音声モード」を「Off」に設定してください。
(54ページ)
- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御 (ビットレート)」を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショットボタンが動作しない場合があります。
その場合は、[JPEG / H.264] タブ (または [JPEG / MPEG-4] タブ) の「JPEG」－「解像度」を「QVGA」にするか、または「JPEG」－「画質」を低く設定してください。

[IP簡単設定有効期間]

IP簡単設定ソフトからのネットワーク設定の操作を有効にする時間を20分間/無制限のどちらかに設定します。

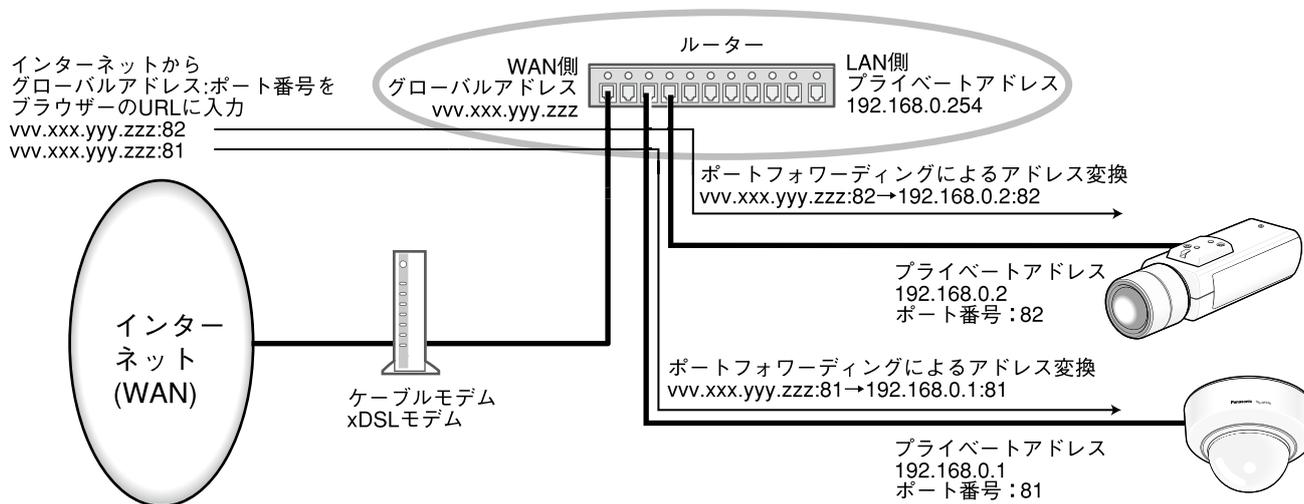
20分間：IP簡単設定ソフトを起動してから20分間の設定操作を有効にします。

無制限：IP簡単設定ソフトからの設定操作が常時有効になります。

初期設定：20分間

メモ

- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換 (NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



DDNSを設定する [DDNS]

ネットワークページの [DDNS] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)

DDNS機能を使用する場合、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセスします。

DDNS機能を使用するには、専用のDDNSサーバーとの接続が必要です。DDNSについての詳細は、ホームページをご覧ください。ホームページのアドレスは、付属のCD-ROM内にあるReadmeに記載してあります。

あらかじめ、DDNSサーバーに登録したホスト名、ユーザー名、パスワードを設定しておきます。

The screenshot shows a configuration page for DDNS. At the top, there are tabs for 'ネットワーク', 'DDNS', 'SNMP', and 'FTP定期'. The 'DDNS' tab is selected. Below the tabs, there is a form with the following fields:

- DDNS**: Radio buttons for 'On' and 'Off'.
- ホスト名**: A text input field.
- ユーザー名**: A text input field.
- パスワード**: A text input field.
- アクセス間隔**: A dropdown menu with '1h' selected.

At the bottom of the form, there is a '設定' (Settings) button.

[DDNS]

DDNS機能を使用するかどうかをOn / Offで設定します。

初期設定：Off

[ホスト名]

使用するホスト名を入力します。

入力可能文字数：1～64文字

初期設定：空欄

[ユーザー名]

DDNSサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。

入力可能文字数：1～32文字

初期設定：空欄

[パスワード]

DDNSサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

[アクセス間隔]

DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。

1 min / 10 min / 30 min / 1 h / 6 h / 24 h

初期設定：1 h

SNMPを設定する [SNMP]

ネットワークページの [SNMP] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。



【コミュニティ名】

監視の対象となるコミュニティ名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

重要

- SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティ名を入力してください。コミュニティ名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

【機器名】

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

【機器の物理的位置】

本機を設置した場所を入力します。

入力可能文字数：0～32文字

初期設定：空欄

【連絡先】

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数：0～255文字

初期設定：空欄

FTP定期送信を設定する [FTP定期]

ネットワークページの [FTP定期] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です (※71ページ)。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、79ページをお読みください。

重要

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、FTP定期送信はできません。
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

メモ

- [SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ自動的に画像を保存することもできます。(※30ページ)



■FTP定期送信

[FTP設定へ]

クリックするとサーバーページの [FTP] タブが表示されます。(※71ページ)

[定期送信]

FTP定期送信を行うかどうかをOn / Offで設定します。「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。(※71ページ)

初期設定：Off

[ディレクトリー名]

送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。

例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。

入力可能文字数：1～256文字

初期設定：空欄

[ファイル名]

送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。

ファイル名+日時：「入力したファイル名+送信日時(年月日時分秒)+00」をファイル名として使用します。

ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。

入力可能文字数：1～32文字

初期設定：空欄

[送信間隔]

送信間隔を以下から選択します。

1 s / 2 s / 3 s / 4 s / 5 s / 6 s / 10 s / 15 s / 20 s / 30 s / 1 min / 2 min / 3 min / 4 min / 5 min / 6 min / 10 min / 15 min / 20 min / 30 min / 1 h / 1.5 h / 2 h / 3 h / 4 h / 6 h / 12 h / 24 h

初期設定：1 s

[解像度]

送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。

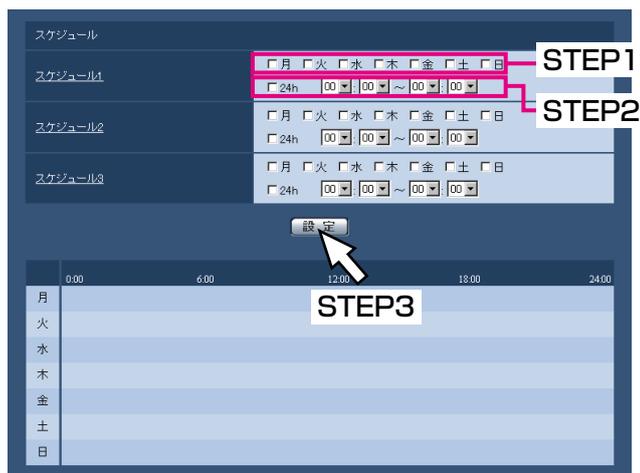
- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
QVGA / VGA / 1 280×960
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
320×180 / 640×360 / 1 280×720

初期設定：VGA

FTP定期送信スケジュールの設定を行う [FTP定期]

ネットワークページの [FTP定期] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作：24、25ページ)
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、78ページをお読みください。

スケジュールの設定のしかた



STEP 1

「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

→曜日が有効になります。

STEP 2

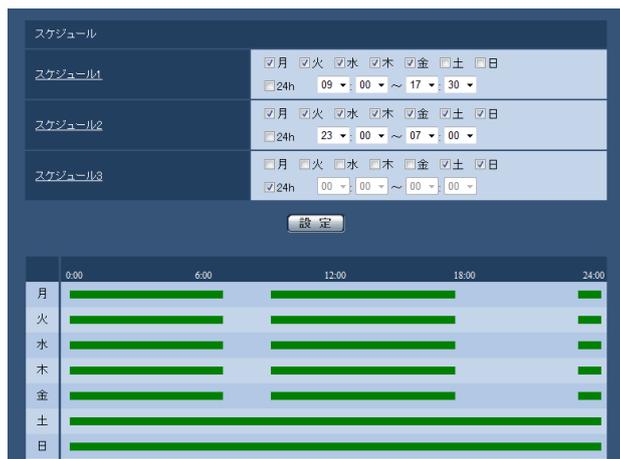
時間を指定するときは、[▼] をクリックして時間を指定します。

時間帯を指定しないときは「24 h」にチェックを入れます。

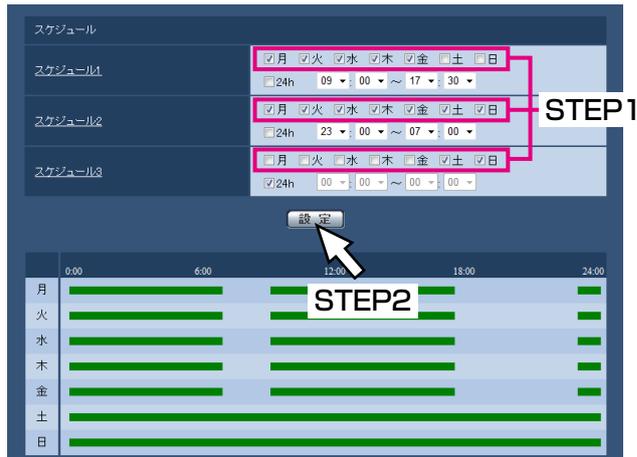
STEP 3

設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。

→画面下に設定した内容が表示されます。



スケジュールの削除のしかた



STEP 1

スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックをはずします。

STEP 2

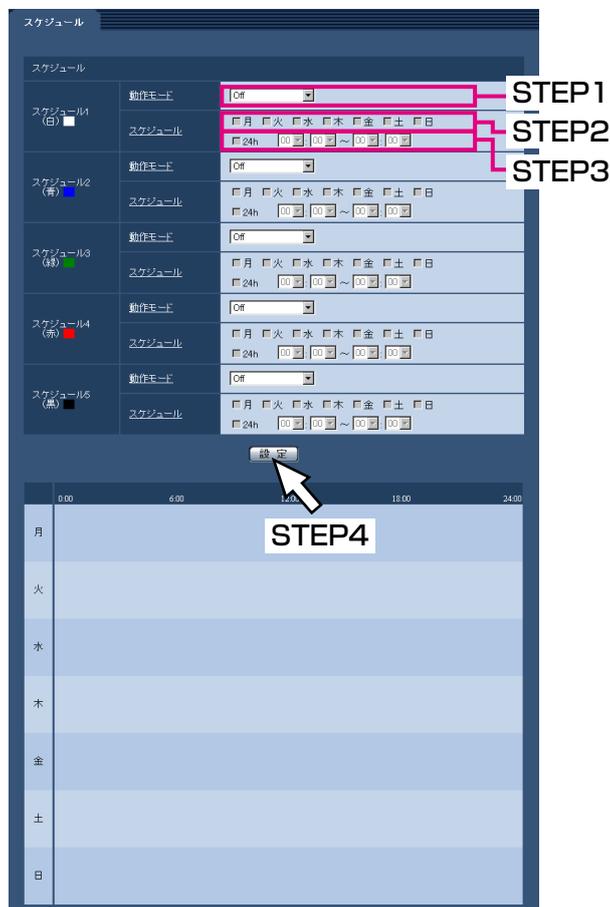
設定が終了したら、「設定」ボタンをクリックします。

→選択した曜日のスケジュールが削除されます。



スケジュールの設定を行う [スケジュール]

スケジュールページでは、アラーム入力許可、VMD検出許可、画像公開許可、のスケジュールの設定を行います。スケジュールページは、[スケジュール] タブでのみ構成されています。スケジュールは、最大5個まで設定することができます。



STEP 1

「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。初期設定時は「Off」に設定されています。

Off : スケジュール動作を行いません。
アラーム入力許可

SP305 **SF335**

: スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

VMD検出許可: スケジュール設定されている間、VMD検出を許可します。

画像公開許可 : スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証] タブ (67ページ) で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

メモ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」(67ページ) を「On」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」(68ページ) を「Off」に設定してください。

STEP 2

「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

STEP 3

時間を指定するときは [▼] をクリックして時間を設定します。

時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

STEP 4

設定が終了したら、[設定] ボタンをクリックします。→画面下に設定した内容が表示されます。

メモ

- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、本機の初期化などを行います。メンテナンスページは、[システムログ] タブ、[バージョンアップ] タブ、[初期化] タブで構成されています。

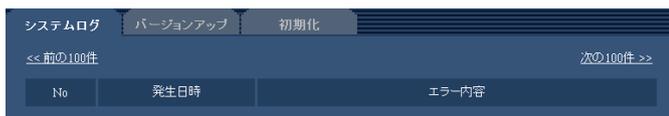
システムログを確認する [システムログ]

メンテナンスページの [システムログ] タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ) [SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定 (☞29ページ) し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4 000件のシステムログを保存できます。「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。

保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

システムログは100件ずつ表示されます。

SDメモリーカードを使用した場合、カメラの電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、カメラの電源を切るとログは消去されます。



[次の100件>>]

クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。

[<<前の100件]

クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。

[No]

システムログの通し番号が表示されます。

[発生日時]

ログの発生日時が表示されます。

メモ

- 「時刻表示形式」(☞27ページ) を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。

[エラー内容]

システムログの内容が表示されます。

各システムログの内容について詳しくは、85ページをお読みください。

本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] (つづき)

ソフトウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ]

メンテナンスページの [バージョンアップ] タブをクリックします。(※設定メニューの表示・操作:24、25ページ)
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

The screenshot shows a web interface with a navigation bar containing 'システムログ', 'バージョンアップ', and '初期化'. Below the navigation bar is a table of system information:

代表品番	SP305	
MACアドレス	00:0C:87:5D:43:00	
シリアル番号	000000000000	
ソフトウェアバージョン	Ver. 1.00	
IPLバージョン	00.000000	
HTMLバージョン	00.000000	
IPアドレス(IPv6)	リンクローカル	FE80::...
	固定	...
	RA	...
プラグインソフトウェアのインストール回数	0	
製造からの経過年数	...	

Below the table is a confirmation dialog box with the following text:

バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う。
(ただしネットワーク関連の設定データは除く) [実行]

バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行わない。
バージョンアップ後HTMLファイルは必ず初期化されます。

バージョンアップ完了まで約9分かかります。
バージョンアップ中はブラウザを操作しないでください。

[代表品番]、[MACアドレス]、[シリアル番号]、[ソフトウェアバージョン]、[IPLバージョン]、[HTMLバージョン]、[IPアドレス (IPv6)]、[プラグインソフトウェアのインストール回数]、[製造からの経過年数]

本機の各情報が表示されます。

STEP 1

お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

STEP 2

[参照] ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP 3

ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

メモ

- 初期化を行うと、設定データの復元ができませんのでご注意ください。

STEP 4

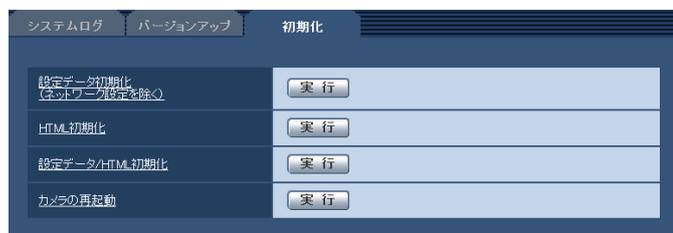
[実行] ボタンをクリックします。
→バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。

重要

- バージョンアップを行った後は必ずインターネット一時ファイルを削除してください。(※91ページ)
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認くださいのうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイルは、必ず「SP305_xxxx.img」を使用してください。
※「xxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでいっさいの操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
DHCPのOn / Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御 (ビットレート)、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を初期化・再起動する【初期化】

メンテナンスページの【初期化】タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：24、25ページ）
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。



【設定データ初期化】

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。

初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

【HTML初期化】

[実行] ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

【設定データ／HTML初期化】

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。

初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

【カメラの再起動】

[実行] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

メモ

- ネットワークの設定内容（☞73ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。電源を入れてから約2分間は本機の電源を切らないでください。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている、などのエラーが起こると、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（☞63、64ページ）

ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

ヘルプ画面を表示する

STEP1

[設定] ボタンをクリックします。
→設定画面を表示します。

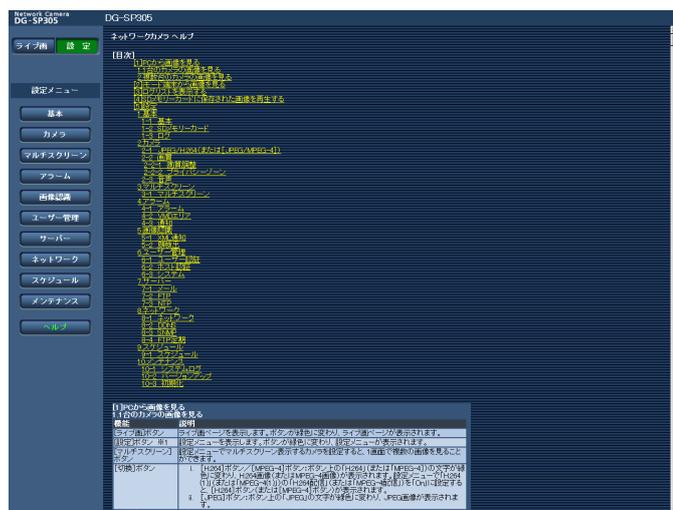


STEP2

下線の項目をクリックすると、ヘルプポップアップ画面が表示されます。ヘルプポップアップ画面を表示したまま、設定することができます。

STEP2

[ヘルプ] ボタンをクリックします。
→「ヘルプ」画面が表示されます。



STEP3

項目をクリックすると、該当する操作の説明が表示されます。

システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	●FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
	FTPサーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
接続エラー	転送エラー	●FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	ログアウト失敗	●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	ディレクトリー変更に失敗	●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
ユーザー名パスワードエラー	●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。	
内部エラー	その他のエラー	●FTP機能で問題が発生しています。FTP設定を再確認してください。

システムログ表示について（つづき）

DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none">●DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。●DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	<ul style="list-style-type: none">●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	<ul style="list-style-type: none">●DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起きました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none">●DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none">●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。●NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	<ul style="list-style-type: none">●NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	<ul style="list-style-type: none">●時刻修正が成功しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	<ul style="list-style-type: none">●ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。●ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

製造年月警告に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	製造からX年経過しました。点検をおすすめします。	<ul style="list-style-type: none">●本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をおすすめします。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
ウェブブラウザからアクセスできない	●ネットワークコネクタにカテゴリ 5以上のケーブルは接続されていますか？	取扱説明書 基本編
	●リンクランプは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	取扱説明書 基本編
	●本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	73
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで > ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 ・本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 ・初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	— 取扱説明書 基本編
	●HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 59 000 ~ 59 999, 60,000 ~ 61 000以外のポート番号を使用してください。	74

故障かな!? (つづき)

症 状	原因 ・ 対策	参照ページ
<p>ウェブブラウザからアクセスできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットワークが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていないですか？ 	-
<p>SDメモリーカードの画像取得ができない</p> <p>SP305 SF335</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。 	74
	<ul style="list-style-type: none"> ●パスワードを間違えて入力していませんか？ ウェブブラウザを再起動してからパスワードを入力し直してください。 	67
<p>画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。 	3
	<ul style="list-style-type: none"> ●DirectXのバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。 (1) PCのスタートメニューから [ファイルを指定して実行] を選択する。 (2) 「dxdiag」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。 	-

故障かな!? (つづき)

症 状	原因・対策	参照ページ
<p>画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。以下の手順を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) Internet Explorerで [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 (2) Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0 の場合 「閲覧の履歴」の [設定] ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 Internet Explorer 6.0の場合 「インターネット一時ファイル」の [設定] ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する。 	<p>—</p>
<p>画像がぼやける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは正しく調節されていますか？ フォーカス調節を確認してください。 	<p>取扱説明書 基本編</p>
<p>画像が更新されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブブラウザやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 	<p>取扱説明書 基本編</p>
<p>カメラ画像が出ない (暗い)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 	<p>10</p>
<p>画像が白っぽい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。 	<p>10</p>
<p>画像がちらつく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス」に設定してください。 	<p>50</p>

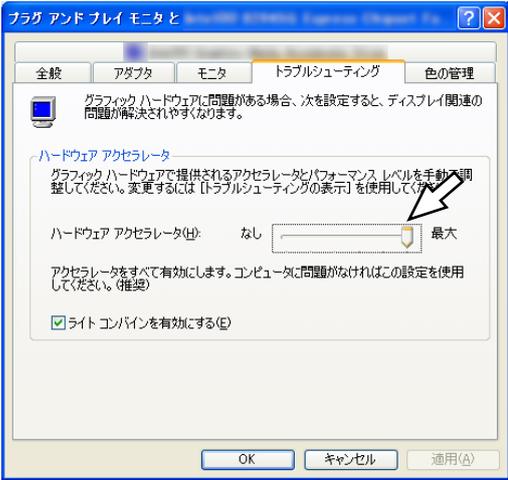
故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>SD メモリーカードに 画像が保存されない SP305 SF335</p> <p>SD メモリーカードへの 書き込み／読み込みな どに失敗する SP305 SF335</p>	<p>●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。</p>	<p>取扱説明書 基本編</p>
	<p>●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。</p>	<p>32</p>
	<p>●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、[SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「*****KB/*****KB」と表示されます。</p>	<p>—</p>
	<p>●[SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「-----KB/-----KB」と表示されていませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。</p>	<p>32</p>
	<p>●メール通知や独自アラームの「診断」機能を使用している場合、認識エラーを受信していませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。</p>	<p>63、64</p>
	<p>●SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度があります。 書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。</p>	<p>—</p>
<p>音声の送話ができない SP305 SF335</p>	<p>●マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。</p>	<p>取扱説明書 基本編</p>
	<p>●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。</p>	<p>3</p>

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ライブ画ページでアラーム発生通知ボタン、[AUX] ボタン、SD 保存状態表示 SP305 SF335 がリアルタイムに表示されない</p>	<p>●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。</p>	3
<p>ライブ画ページの画像が表示されない</p>	<p>●状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？</p>	28
<p>ログリストのダウンロードができない SP305 SF335</p>	<p>●PCのキーボードの [F5] キーを押すか、[ライブ画] ボタンをクリックしてください。</p>	9
<p>画像がうまく更新されない、表示されない</p>	<p>●ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？ Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（[インターネットオプション]-[セキュリティ]）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。</p>	-
<p>画像がうまく更新されない、表示されない</p>	<p>●以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 (1) Internet Explorerで [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 (2) 「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] ボタンをクリックする。</p>	-
<p>画像がうまく更新されない、表示されない</p>	<p>●ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。</p>	-
<p>画像がうまく更新されない、表示されない</p>	<p>●通信回線やPCによっては、画像の表示が一時的に更新されない場合がありますが、次のフレームまたはリフレッシュ周期で復帰すれば、異常ではありません。</p>	-
<p>各種ランプが点灯しない</p>	<p>●設定メニュー [基本] でランプ表示設定が「消灯」に設定されていませんか？ ランプ表示設定を「点灯」に設定して下さい。</p>	28

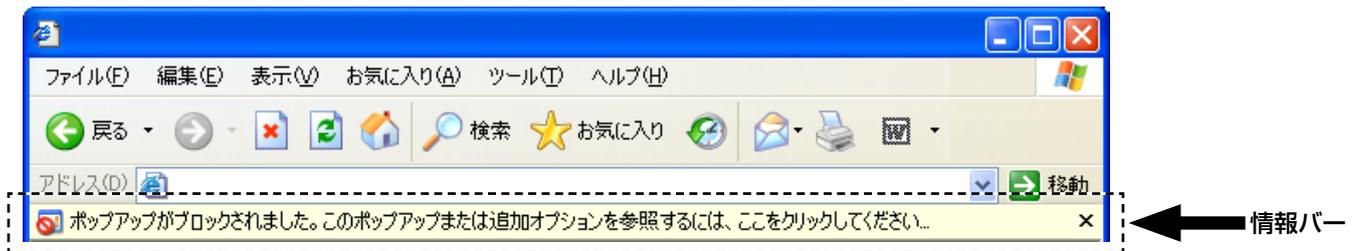
故障かな!? (つづき)

症 状	原因 ・ 対策
<p>H.264 (または MPEG-4) 画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4」を削除した場合、H.264 (またはMPEG-4) 画像の表示が行われなくなります。その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4」のインストールを行ってください。 <p style="text-align: right;">3</p>
<p>複数のウェブブラウザを起動してH.264 (または MPEG-4) 画像を表示したとき、1つのウェブブラウザに複数のカメラ画像が切り換わり表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。ここでは、Windows XP を例に説明します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 (2) 画面のプロパティ画面で「設定」タブをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリックします。 (3) 「トラブルシューティング」タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、「なし」にしてください。 <p style="text-align: right;">—</p> 

故障かな!? (つづき)

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



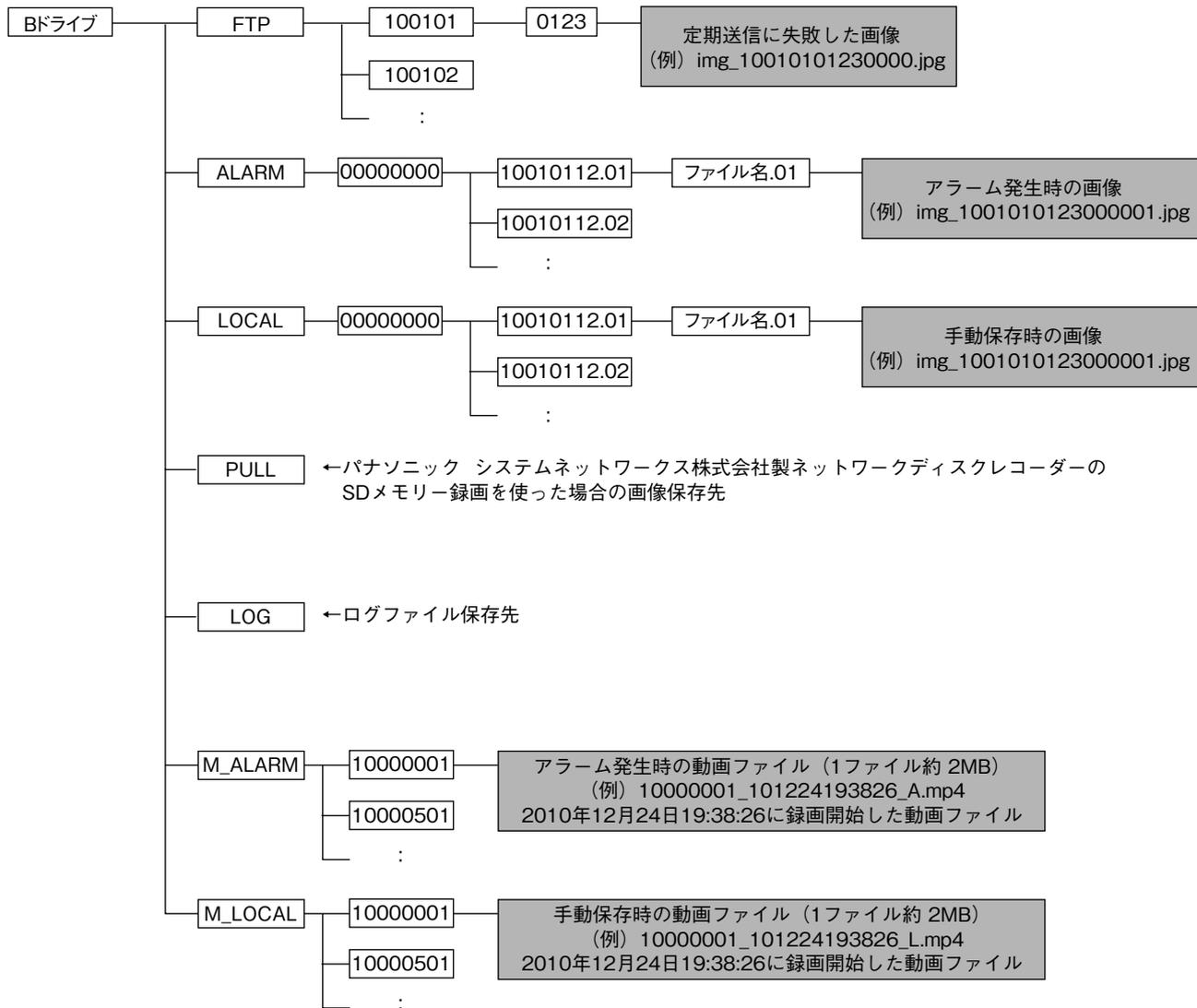
症 状	原因 ・ 対策	
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください ...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	<p>—</p>
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります :!Panasonic System Networks Co.,Ltd. からの 'nwcv4setup.exe インストールするには、ここをクリックしてください ...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	<p>—</p>

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	<ul style="list-style-type: none">● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	—
画像が表示用の枠と一致していない	<ul style="list-style-type: none">● 画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で[設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	—

Bドライブのディレクトリー構造について

SP305 SF335



■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承ください。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	DG-SP305, DG-SF335 DG-SP304V, DG-SF334
	販売店名	電話（ ） -				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

3TR006408BZB
N0310-1040